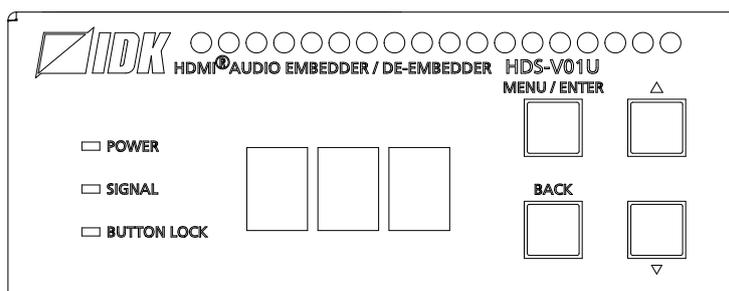


HDMI オーディオエンベッダー・ディエンベッダー

HDS-V01U

<ユーザーズガイド>

取扱説明書 Ver.1.0.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

IDK Corporation

商標について

- Blu-ray Disc (ブルーレイディスク)、Blu-ray (ブルーレイ) は Blu-ray Disc Association の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Javascript®は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- アンチストームおよびコネクションリセットは、株式会社アイ・ディ・ケイの登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図やメニュー項目などが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

www.idk.co.jp

取扱説明書の構成

取扱説明書は、目的に応じた2冊の構成で提供しています。必要に応じた、取扱説明書をお読みください。なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

■ ユーザーズガイド (本書)

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。
- ・ 設置し、他の機器と接続する。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■ コマンドガイド

[目的]

- ・ LAN 通信による外部制御をする。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは



指示

●持ち上げるときは2人以上で作業する

製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。

1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。

設置・接続するときは



禁止

●不安定な場所に置かない

水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。

●振動のある場所に設置するときは固定する

振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。



警告

 <p>指示</p>	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●受電/給電機能を使用するときは、各受電/給電規格に適合したケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
---	--

お使いのときは

 <p>禁止</p>	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプター・受電/給電用ケーブルは傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

もしものときは

 <p>プラグを抜く</p>	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
---	---



注意

設置・接続するときは

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●ほこり・油煙・湿気が多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 高温面注意	<ul style="list-style-type: none"> ●高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ●定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

目次

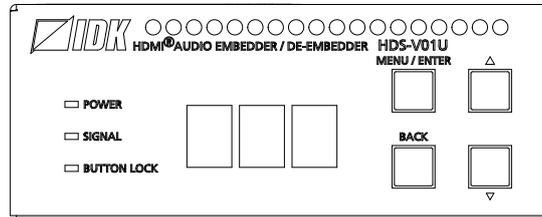
1	同梱物の確認	9
2	製品概要	10
3	特長	11
3.1	ダウンコンバートの出力設定について	12
3.2	出力信号設定について	12
3.3	LAN の接続について	13
3.4	WEB 画面について	13
4	各部の名称とはたらき	14
4.1	フロントパネル	14
4.2	リアパネル	15
5	システム構成例	16
6	お使いになる前に	17
6.1	設置について	17
6.2	接続について	17
6.2.1	HDMI ケーブルについて	18
6.2.2	ケーブル固定ブラケット	19
6.2.3	オーディオケーブルの接続方法	20
6.3	LAN ケーブルの接続について	20
6.4	ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱い	21
7	基本操作	21
7.1	メニュー操作	22
7.2	WEB ブラウザからの操作	23
7.2.1	WEB メニューの操作方法	24
7.3	メニュー操作ボタンのロック設定	25
7.4	状態通知について	25
7.5	工場出荷時の設定に戻す	26
8	各種設定	27
8.1	フロントメニューの概要	28
8.1.1	フロントメニューの一覧	28
8.2	WEB メニューの概要	30
8.2.1	WEB メニューの一覧	30
8.3	EDID 設定	32
8.3.1	EDID のコピー	33
8.3.2	入力解像度	34
8.3.3	EDID のコピー選択	36
8.3.4	Deep Color 入力	37
8.3.5	リニア PCM オーディオ	37
8.3.6	AC-3 Dolby Digital オーディオ	38
8.3.7	AAC オーディオ	38
8.3.8	Dolby Digital Plus オーディオ	39
8.3.9	DTS オーディオ	39
8.3.10	DTS-HD オーディオ	40
8.3.11	Dolby TrueHD オーディオ	40
8.3.12	スピーカー構成	41
8.3.13	CEC 物理アドレスコピー	42
8.3.14	フレームレート	42
8.4	音声設定	43

8.4.1	音声入力時の安定待ち	43
8.4.2	音声出力設定	43
8.4.3	音声選択	43
8.4.4	映像信号無入力時の出力音声	44
8.5	入力設定	45
8.5.1	HDCP 入力の許可 / 禁止	45
8.5.2	映像信号の無入力監視	46
8.6	出力設定	47
8.6.1	ホットプラグ オフ マスク	47
8.6.2	シンク機器 EDID 判別	48
8.6.3	出力フォーマット	49
8.6.4	ダウンコンバート出力	50
8.6.5	出力信号設定	51
8.6.6	映像信号無入力時の出力設定	52
8.7	LAN 設定	53
8.7.1	IP アドレス	53
8.7.2	サブネットマスク	54
8.7.3	TCP ポート番号	55
8.7.4	MAC アドレス表示	56
8.8	システム設定	56
8.8.1	リブート	56
8.8.2	ボタンロック対象の設定	56
8.8.3	パワーセーブ	57
8.8.4	バージョン情報	57
8.8.5	メンテナンス / 状態表示メニューの表示	58
8.9	ステータス表示	59
8.9.1	入力信号状態	59
8.9.2	シンク機器状態	63
8.9.3	システムチェック状態	67
8.10	WEB メニューに限定した操作	68
8.10.1	表示される名前の編集	68
8.10.2	自動更新時間	68
8.10.3	全設定の保存・復元	68
8.10.4	設定の初期化	69
9	ライセンス	70
10	製品仕様	71
11	正常に動作しない時は	72

1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

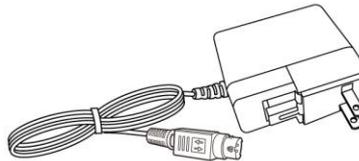
万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。



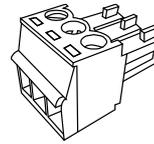
HDS-V01U 本体 × 1



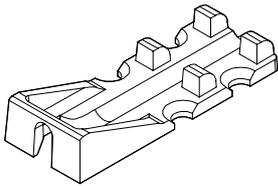
安全上のご注意 × 1
設置ガイド × 1



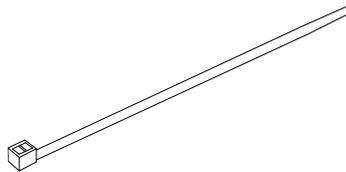
専用 AC アダプタ (1.2 m) × 1



ターミナルブロック (3 ピン) × 2



ケーブル固定ブラケット × 2



結束バンド × 2

[図 1.1] 同梱物の一覧

2 製品概要

HDS-V01U は、解像度 4K@60 に対応した HDMI オーディオエンベッダー・ディエンベッダーです。HDMI 出力にはダウンコンバート機能を搭載しています。入力映像フォーマットが 4K のとき、シンク機器の受信可能な解像度を判別して自動的に 1080p に変換出力することが可能です。

音声は、デジタル音声をアナログ音声に変換して出力することができます。また、アナログ音声をデジタル音声に変換し、HDMI 信号へ入力することができます。

制御用通信ポートとして LAN を装備し、コマンドや WEB ブラウザーを使用して本機を遠隔操作できます。

3 特長

■ 映像

- ・ 最大解像度 4K@60 (4:4:4)
- ・ HDCP 1.4 / 2.2 対応
- ・ HDR 対応
- ・ 3D 対応
- ・ x.v.Color 対応
- ・ HDMI ケーブル最大距離
 - 30 m : 1080p@60
 - 12 m : 4K@60 (18 Gbps 高速伝送対応ケーブル使用時)
- ・ ダウンコンバート対応 (4K から 1080p への変換)
- ・ 信号オフ / ミュート機能
- ・ カスケード接続可能
- ・ アンチストーム機能

■ 音声

- ・ HDMI エンベデッド音声をアナログ音声に出力可能
- ・ アナログ音声を入力し HDMI 信号にエンベデッド可能

■ 制御入力

- ・ LAN

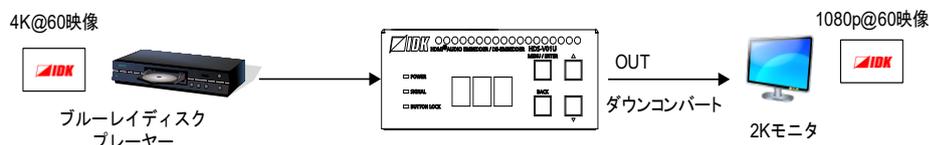
■ その他

- ・ 状態通知
- ・ 入出力信号ステータス表示
- ・ EDID エミュレート機能 (コピー機能付)
- ・ DDC バッファ
- ・ WEB ブラウザ制御
- ・ CEC は IN と OUT 間でパススルー
- ・ コネクションリセット機能
- ・ ボタンロック機能
- ・ 電源コネクタのロック機構
- ・ システムチェック機能

3.1 ダウンコンバートの出力設定について

入力された映像信号が 4K フォーマットの場合、1080p にダウンコンバート出力することが可能です。通常、ダウンコンバート出力を“自動”に設定すると、接続されたシンク機器が 2K 信号までしか対応していない場合、自動的にダウンコンバートします。

【参照：8.6.4 ダウンコンバート出力 (P.50)】



【図 3.1】 ダウンコンバート出力

3.2 出力信号設定について

出力する映像信号は、映像と音声のミュートやオフが選択できます。

“映像出力 OFF”に設定した場合、シンク機器に映像信号を出力しません。使用しないモニタをスタンバイ状態にできるため、省エネ効果があります。

“黒画面出力 ON”を選択した場合、シンク機器に黒画面を出力し、画面の内容を隠すことができます。モニタをスタンバイ状態に移行しないため、再び入力映像を表示するときは、画面の内容を早く表示させることができます。

“映像出力 OFF”、“黒画面出力 ON”または“音声出力 OFF”を設定した場合、フロントパネルの BACK ボタンは本設定の有効 / 無効の切換ボタンとして機能します。これらの設定が有効な状態でメニューのトップ画面に戻ると、BACK ボタンが点灯します。点灯中に BACK ボタンを押すと、本設定は無効になり、BACK ボタンが消灯します。

【参照：8.6.5 出力信号設定 (P.51)】

【注意】 黒画面出力は、本機に映像信号が入力されているときにのみ機能します。

3.3 LAN の接続について

本機の LAN コネクタは、パソコンから本機への通信コマンド、または WEB ブラウザによる外部制御が可能です。

本機は DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) による IP アドレスの自動取得に対応しておりません。DHCP を使用したネットワーク内で本機を使用する場合は、固定の IP アドレスを用意してください。

【参照：8.7.1 IP アドレス (P.53)】

3.4 WEB 画面について

WEB ブラウザから操作するときは、WEB ブラウザのアドレスバーに、本機に設定した IP アドレスを入力してください。WEB メニュー画面が起動します。

各種機能画面は、[MENU] に表示される項目から選択することで表示されます。

またこれらの画面から、フロントディスプレイに表示されるメニューと同様に、すべての機能进行操作することができます。

[VIEW STATUS] メニューを選択すると、入出力信号の情報と、接続機器の情報を確認できます。

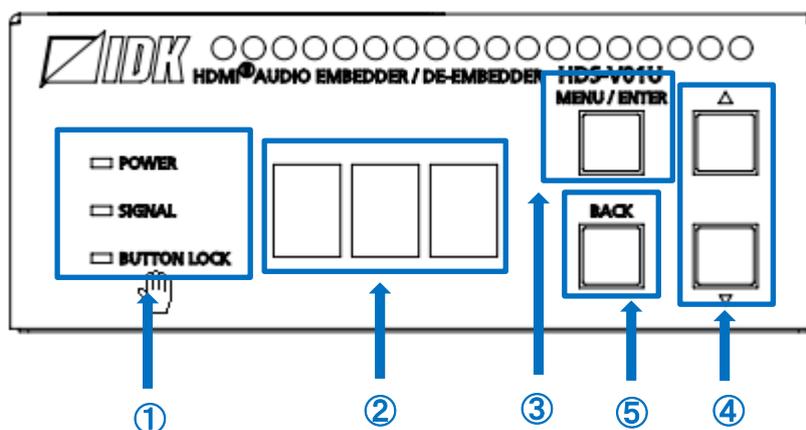
【参照：8.7.1 IP アドレス (P.53)】

HDS-V01U AUDIO EMBEDDER/DE-EMBEDDER			
[MENU]	[VIEW STATUS]		
	INPUT STATUS	VIDEO STATUS	: IN
		FORMAT	: 1920x1080p 59.94Hz
		INPUT MODE	: HDMI MODE
		HDCP	: HDCP 1.4
		COLOR SPACE	: 444 LIMITED RANGE YUV709
		DEEP COLOR	: 24 BIT COLOR
		SCRAMBLE	: SCRAMBLE OFF
		AUDIO STATUS	: IN
		FORMAT	: LINEAR PCM
		SAMPLING FREQUENCY	: 48 kHz
		CHANNEL	: 2 CHANNEL
		BIT LENGTH	: 24 BIT
		SINK DEVICE STATUS	: OUT1
		HDCP AUTHENTICATION	: HDCP 1.4
		OUTPUT MODE	: HDMI MODE
		COLOR SPACE	: 444
		COLOR RANGE	: LIMITED RANGE
		DEEP COLOR	: 24 BIT COLOR
		SCRAMBLE	: SCRAMBLE OFF
	SINK DEVICE EDID	: OUT1	
	MONITOR NAME	: MSD-6204	
	RESOLUTION	: 1920x1080 148.50MHz	
	HDMI/DVI	: HDMI MODE	
	COLOR SPACE	: RGB / 422 / 444	
	DEEP COLOR	: 24 BIT COLOR	
	PCM FREQUENCY	: 32 / 44.1 / 48 kHz	
	PCM BIT LENGTH	: 16 / 20 / 24 BIT	
	PCM CHANNEL	: 2 CHANNEL	
	COMPRESSED AUDIO	: NOT SUPPORTED	
	HDR	: NOT SUPPORTED	
	SCDC	: NOT SUPPORTED	
	3D	: NOT SUPPORTED	
	SYSTEM STATUS	TEMPERATURE : 34.7 C	STATUS: OK
		POWER : 12.368 V	STATUS: OK
	VERSION	HDS-V01U	: 02.00.00

[図 3.2] VIEW STATUS 画面

4 各部の名称とはたらき

4.1 フロントパネル

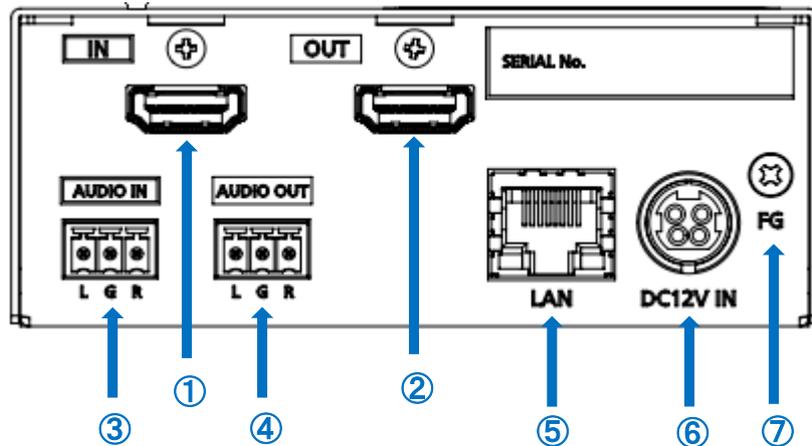


[図 4.1] フロントパネルの外観図

[表 4.1] フロントパネルの各名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	ステータスランプ	<p>電源の供給、映像信号の有無、本機の設定状態を LED で確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POWER : AC アダプタから電源が供給されているときに点灯します。 ・SIGNAL : 映像信号の入力検出を確認できます。 点灯 : 映像信号の入力あり 消灯 : 映像信号の入力なし ・BUTTON LOCK : メニュー操作ボタンがロックされているときに点灯します。 【参照 : 7.3 メニュー操作ボタンのロック設定 (P.25)】
②	フロントディスプレイ	<p>本機の電源を入れると、機種名が表示されてから消灯します。メニュー画面では、設定時のメニュー番号、設定内容または設定状態などを表示します。なお、60 秒間メニュー操作ボタンを押さなかった場合は、トップ画面に戻り消灯します。</p>
③	MENU / ENTER ボタン	<p>メニュー画面に入り、各機能の設定を決定します。</p>
④	▲ / ▼ボタン	<p>メニュー画面で、メニューのスクロールや設定値の選択に使用します。</p>
⑤	BACK ボタン	<p>メニュー画面で押すと、メニュー階層を戻ります。また、出力信号設定で“OFF”や“MUTE”を選択した場合、映像出力や音声出力のオフ / オン切換ボタンとして機能します。 【参照 : 8.6.5 出力信号設定 (P.51)】</p>

4.2 リアパネル



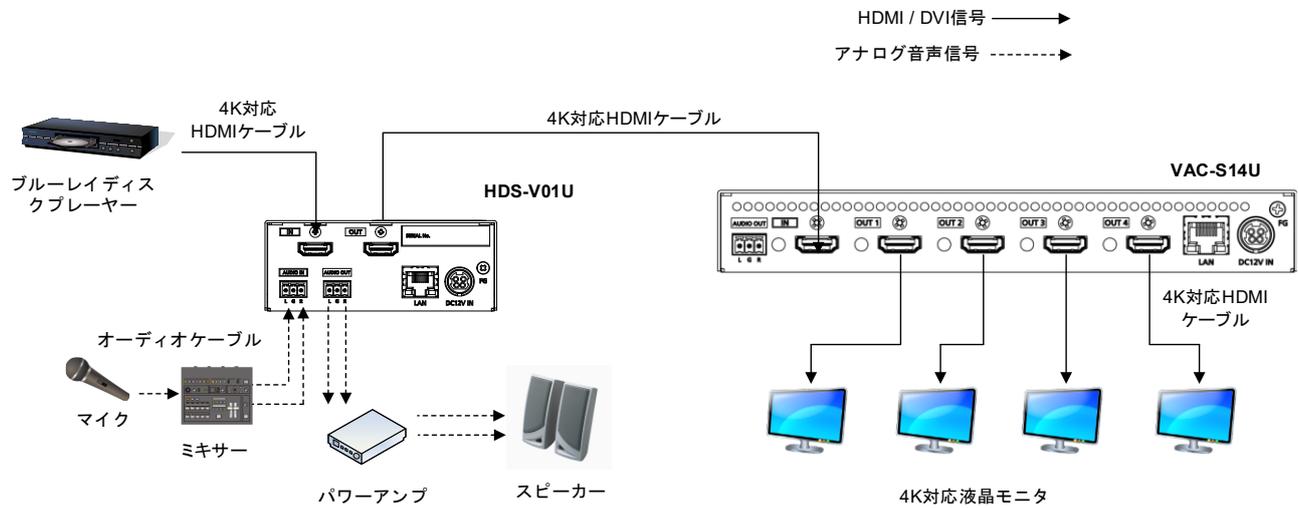
[図 4.2] リアパネルの外観図

[表 4.2] リアパネルの各名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	HDMI 入力コネクタ	HDMI 信号と DVI 信号の入力コネクタです。 ブルーレイディスクプレーヤーなどのソース機器と接続します。
②	HDMI 出力コネクタ	HDMI 信号と DVI 信号の出力コネクタです。 液晶モニタ、プロジェクターなどのシンク機器と接続します。
③	アナログ音声入力コネクタ	アナログ音声信号の入力コネクタです。 コネクタの形状は、ターミナルブロック (3 ピン) です。 【参照：6.2.3 オーディオケーブルの接続方法 (P.20)】
④	アナログ音声出力コネクタ	アナログ音声信号の出力コネクタです。 入力信号のデジタル音声をアナログ出力します。アンプ、スピーカーまたはミキサーなどへ接続します。 コネクタの形状は、ターミナルブロック (3 ピン) です。 【参照：6.2.3 オーディオケーブルの接続方法 (P.20)】
⑤	LAN コネクタ	LAN 通信コネクタです。 通信コマンドまたは WEB ブラウザによる外部制御で使します。 【参照：6.3 LAN ケーブルの接続について (P.20)】
⑥	電源コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。
⑦	フレームグラウンド	屋内のアース端子と接続します。 M3 ねじを使用しています。

5 システム構成例

次の図は、本機にブルーレイディスクプレーヤー、モニターおよびスピーカーなどを接続したときのシステム構成例です。



[図 5.1] HDS-V01U を使用した接続例

6 お使いになる前に

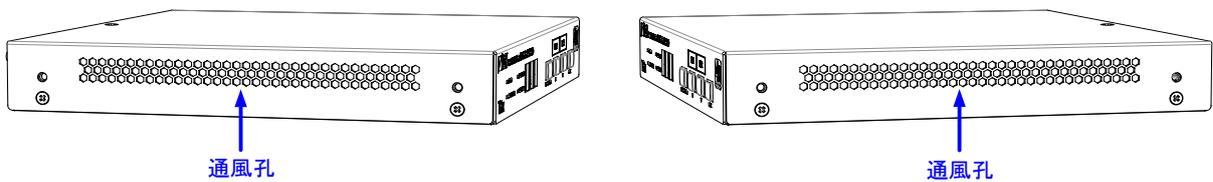
本機をお使いになる前に、本章の内容をお読みください。

6.1 設置について

本機を設置するときは次の点にご注意ください。

本体内部の温度が上昇し、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあります。

- ・ 本機を積み重ねて使用しないでください。
- ・ 通風孔をふさがないでください。



[図 6.1] 通風孔

- ・ 周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
- ・ 製品仕様書に記載される使用温度範囲内でご使用ください。

【参考】 EIA ラックへ設置する場合は、オプションとしてラック取付金具を用意していますので、弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

6.2 接続について

本機を外部機器と接続するときは、次の事項をお守りください。

- ・ 外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ ケーブルを本機、または外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に接地された周辺の金属に触れて、身体の帯電を除去してから作業をしてください。
- ・ 各機器の電源を切った状態で接続をしてください。
- ・ ケーブルはコネクタにしっかりと差し込んでください。
- ・ コネクタにストレスを与えない配線をしてください。

6.2.1 HDMI ケーブルについて

映像が 4K フォーマットの場合、TMDS データレート (伝送速度) は最大 18 Gbps となります。ハイスピード HDMI ケーブルの TMDS データレートは最大 10.2 Gbps となるため、安定した映像を表示させることができません。

使用されるケーブルは、4K フォーマットに応じて、18 Gbps 高速伝送対応ケーブルを選定してください。また、ケーブルの種類、ソース機器やシンク機器などの特性によって、最大距離は変わります。そのため、特性の優れたケーブルをご使用いただくことをお勧めします。

[表 6.1] 4K フォーマットで必要となる 18 Gbps 高速伝送対応ケーブル

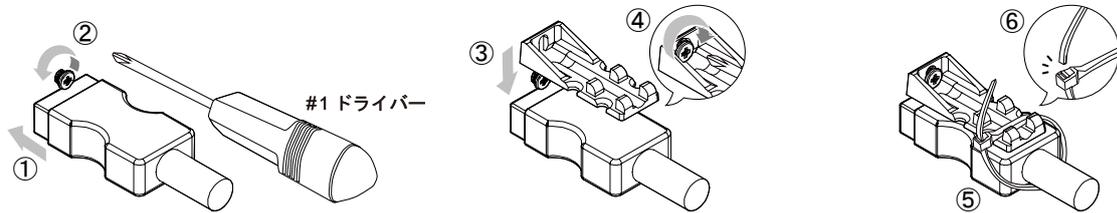
	TMDS データレート (Gbps)								
	RGB、YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2			YCbCr 4:2:0		
4K フォーマット	24 bit	30 bit	36 bit	24 bit	30 bit	36 bit	24 bit	30 bit	36 bit
3840x2160p (24 / 25 / 30)	△	◎	◎	△	△	△	—	—	—
4096x2160 (24 / 25 / 30)	△	◎	◎	△	△	△	—	—	—
3840x2160p (50 / 59.94 / 60)	◎	—	—	◎	◎	◎	△	◎	◎
4096x2160 (50 / 59.94 / 60)	◎	—	—	◎	◎	◎	△	◎	◎

【記号】 ◎ : 18 Gbps 高速伝送対応ケーブル、△ : 10.2 Gbps 伝送ケーブル、— : 規格無し

【注意】 ケーブルジョイント (JJ) などを使用し、ケーブルを延長した場合は、映像の乱れや出力がされない場合があります。

6.2.2 ケーブル固定ブラケット

HDMI ケーブルの抜け落ち防止のため、HDMI ケーブルをケーブル固定ブラケットと結束バンドで以下のように固定してください。



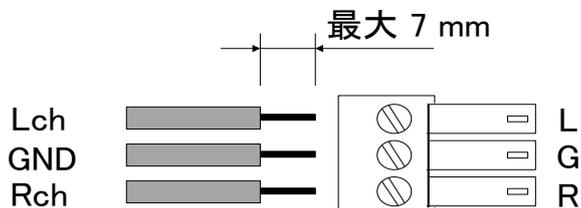
- ① HDMIケーブルを HDMIコネクタに接続する。
- ② HDMIコネクタ上部のねじを緩める (6回転程度)。
- ③ 固定ブラケットを HDMIコネクタ上部のねじに引っ掛け、固定ブラケットを HDMI ケーブルに密着させる。
- ④ ねじを締めて固定ブラケットを固定する (締めすぎに注意)。
- ⑤ 固定ブラケットと HDMI ケーブルの根本を結束バンドで締める。
- ⑥ 余った部分をカットする。

[図 6.2] ケーブル固定ブラケット (FB-01 弊社製品専用)

6.2.3 オーディオケーブルの接続方法

付属のターミナルブロック (3 ピン) にケーブルを固定し、アナログ音声出力コネクタ、アナログ音声入力コネクタに接続してください。

なお、ケーブルは AWG 24 ~ AWG16 を推奨します。剥き線長さは最大 7 mm です。



[図 6.3] ターミナルブロック (3 ピン) へのオーディオケーブルの接続方法

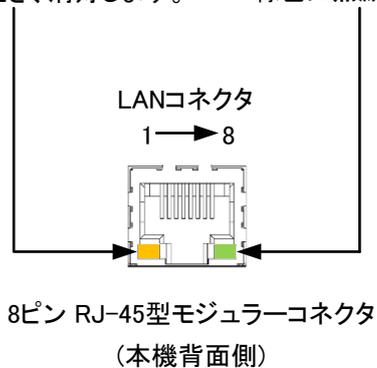
6.3 LAN ケーブルの接続について

LAN コネクタのピン配列は次のとおりです。

ストレートケーブル / クロスケーブルの判別・切り換えを自動的に行なう Auto MDI / MDI-X に対応しています。

伝送速度が100 Mbpsのとき、
 橙色に点灯します。
 10 Mbpsのとき、消灯します。

リンクが確立しているとき、
 緑色に点灯します。
 データの送受信中は、
 緑色に点滅します。



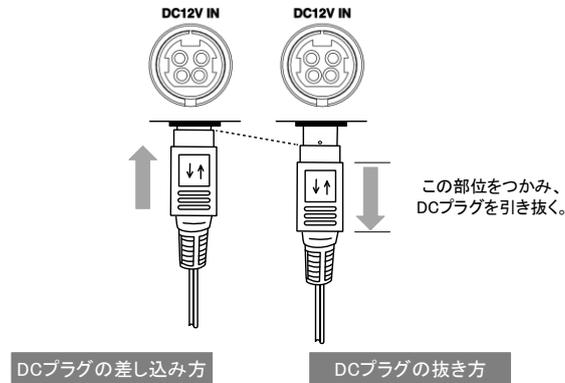
ピン番号	信号名	
	MDI	MDI-X
1	TX+ (送信データ +)	RX+ (受信データ +)
2	TX- (送信データ -)	RX- (受信データ -)
3	RX+ (受信データ +)	TX+ (送信データ +)
4	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)
5	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)
6	RX- (受信データ -)	TX- (送信データ -)
7	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)
8	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)

[図 6.4] LAN コネクタ仕様

6.4 ロック付き DIN プラグ AC アダプタの取り扱い

付属の AC アダプタを電源コネクタへ接続してください。

AC アダプタ先端の DC プラグは、“カチッ”と音がするまで確実に本体の電源コネクタへ差し込んでください。また、電源コネクタから DC プラグを引き抜くときは、下図に示す部位をつかんでください。



[図 6.5] DC プラグの差し込みと抜き方

7 基本操作

本機の操作は、次の 3 通りがあります。

- フロントパネルのボタン操作
- WEB ブラウザを使った制御
- 通信コマンドを使ったコマンド制御

この章では、フロントパネルのボタン操作と、WEB ブラウザを使った制御について説明します。

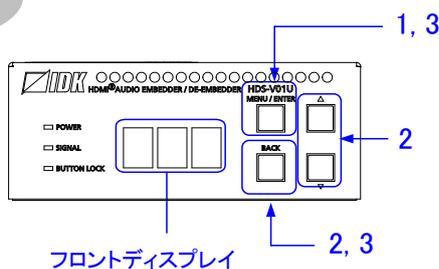
通信コマンドを使ったコマンド制御は、別冊「HDS-V01U 取扱説明書 <コマンドガイド>」で説明します。

7.1 メニュー操作

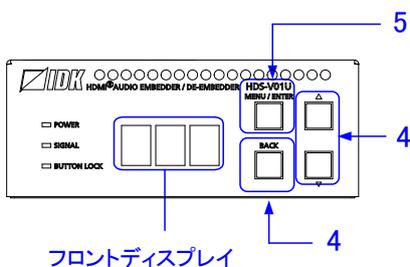
メニューから各種設定をします。

メニュー操作ボタンの使い方は、映像信号と音声信号に必要な設定項目（メニュー番号）を選択し、その項目の詳細な設定項目（設定内容）を確定します。メニュー番号と設定内容は、フロントディスプレイに表示されます。ただし、操作の途中で 60 秒間メニュー操作ボタンを押さなかった場合、トップ画面に戻り、フロントディスプレイが消灯します。

メニュー番号
の選択



設定番号
の選択



設定手順

- 1 MENU / ENTER ボタンを押す。
フロントディスプレイが点灯します。

- 2 ▲ / ▼ボタンでメニュー番号を選択する。

BACK ボタンでトップ画面に戻ると、
フロントディスプレイが消灯します。

- 3 MENU / ENTER ボタンでメニュー番号を確定する。
設定内容が表示されます。

BACK ボタンで手順 2 に戻ります。

- 4 ▲ / ▼ボタンで設定内容を選択する。

10 秒間操作をしなかった場合は、手順 2 に戻ります。
BACK ボタンで手順 2 に戻ります。

- 5 MENU / ENTER ボタンで設定内容を確定する。
メニュー番号の表示に戻ります。

[図 7.1] メニュー操作ボタンの使い方

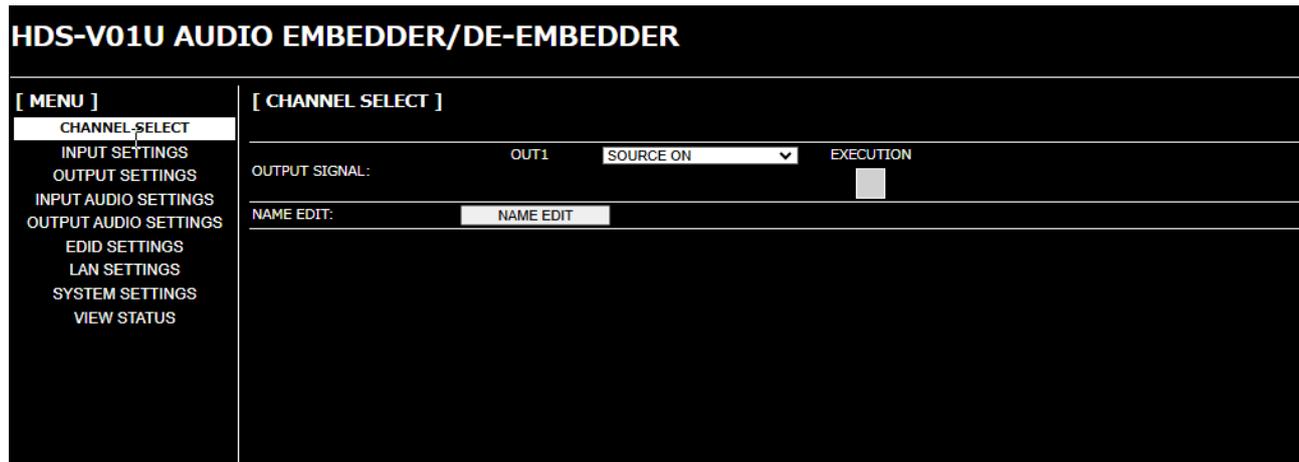
7.2 WEB ブラウザからの操作

LAN で接続された本機を、WEB ブラウザから操作できます。

本機の WEB ブラウザ画面には、JavaScript 機能を使用しています。WEB ブラウザから本機を設定する場合は、WEB ブラウザの JavaScript を必ず有効に設定してください。JavaScript を有効に設定する方法は、WEB ブラウザのヘルプなどをご確認ください。

WEB ブラウザから本機を操作するときは、WEB ブラウザのアドレスバーに本機に設定した IP アドレスを入力してください。

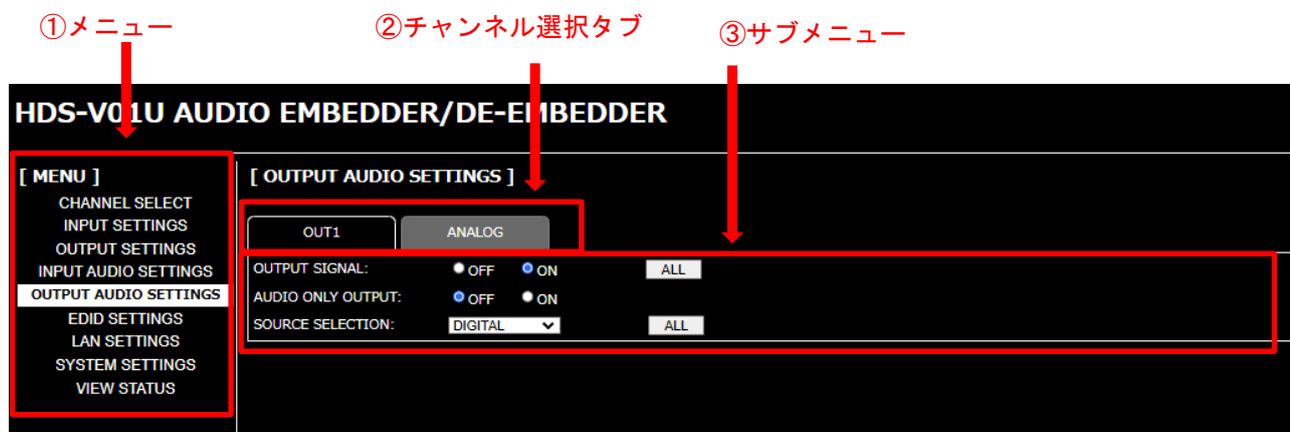
【参照：8.7.1 IP アドレス (P.53)】



[図 7.2] WEB メニュー画面

7.2.1 WEB メニューの操作方法

WEB メニューの基本的な使用方法について説明します。



[図 7.3] WEB メニュー画面

- ① メニューから設定する項目を選択します。
項目を選択すると、サブメニューに各種設定項目が表示されます。
- ② チャンネルごとに設定項目がある場合は、チャンネル選択タブが表示されます。
- ③ サブメニューから各種設定をします。設定をするときは、次の表を参照してください。

[表 7.1] 操作方法

名称	表示	説明
実行ボタン	<input type="button" value="SET"/>	設定した内容を実行します。
プルダウンリスト	<input type="text" value="OUT1"/> ▼	複数の選択肢から設定値を選択します。
スピンドボタン	<input type="text" value="10"/> ▼ ▲	右側の上下ボタンで設定します。 テキストエリアに設定値を直接入力することもできます。
ラジオボタン	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	いずれかの選択が有効になります。

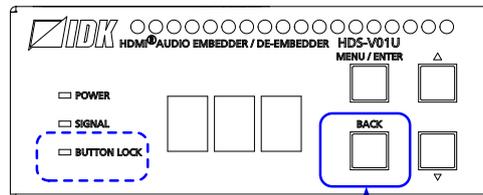
7.3 メニュー操作ボタンのロック設定

BACK ボタンを約 3 秒間長押しすることにより、メニュー操作ボタンにロックがかかります。

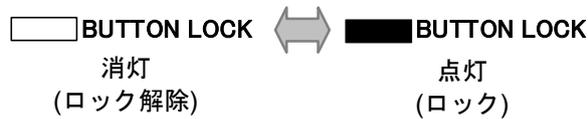
ロック中は、ボタン操作ができません。ロックを解除するには、再度 BACK ボタンを約 3 秒間長押ししてください。

ロック状態のまま本機の電源を切り、再度電源を投入したときは、ロック状態で起動します。

【参照：8.8.2 ボタンロック対象の設定 (P.56)】



「BACK」ボタンを長押しすることで、ボタンロックの設定 / 解除ができます。



【図 7.4】メニュー操作ボタンのロック設定

【参考】メニュー画面表示中にロック状態にすると、トップ画面表示に戻ります。

7.4 状態通知について

状態通知とは、本機の入出力やシステム内で状態変化があったとき、外部制御機器へ通知する機能です。

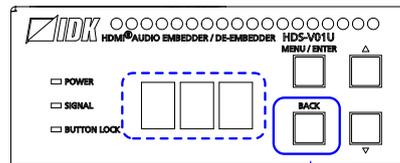
LAN で接続された外部制御機器に状態通知を行うには、状態通知機能を有効にするコマンドを設定する必要があります。

詳細は、別冊「HDS-V01U 取扱説明書 <コマンドガイド>」をご参照ください。

7.5 工場出荷時の設定に戻す

BACK ボタンを押しながら電源を入れると、LAN の設定も含めたすべての項目が工場出荷時の設定に戻ります。一度この操作をすると、それまで使用していた設定に戻すことはできません。

工場出荷時の設定に戻るとき、フロントディスプレイに「CLr」と表示されます。設定が工場出荷時の値に戻ると、フロントディスプレイに機種名が表示されてから、通常動作が開始されます。



工場出荷時の設定に戻すには、「BACK」ボタンを押しながら、電源を入れます。



[図 7.5] 工場出荷時の設定に戻す

8 各種設定

本製品の各種設定方法について説明します。本機はフロントパネルと WEB ブラウザからメニュー設定ができます。各機能の関連付けは以下のとおりです。

[表 8.1] 各種メニュー対応表

フロントメニュー	WEB メニュー	機能	参照ページ
F01 ~ F03	EDID SETTINGS → SINK DEVICE EDID COPY	EDID のコピー	33
F10	EDID SETTINGS → RESOLUTION	入力解像度	34
F14	EDID SETTINGS → CH.FOR COPY MODE	EDID のコピー選択	36
F16	INPUT SETTING → NO INPUT MONITORING	映像信号の無入力監視	46
F20	EDID SETTINGS → DEEP COLOR	Deep Color 入力	37
F22	EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT	リニア PCM オーディオ	37
F24		AC-3 Dolby Digital オーディオ	38
F26		AAC オーディオ	38
F28		Dolby Digital Plus オーディオ	39
F30		DTS オーディオ	39
F32		DTS-HD オーディオ	40
F34		Dolby TrueHD オーディオ	40
F36	EDID SETTINGS → SPEAKER CONFIGURATION	スピーカー構成	41
F38	EDID SETTINGS → CEC ADDRESS COPY	CEC 物理アドレスコピー	42
F40	EDID SETTINGS → FRAME RATE	フレームレート	42
F70, F78	OUTPUT AUDIO SETTINGS → OUTPUT SIGNAL	音声出力設定	43
F80, F88	OUTPUT AUDIO SETTINGS → SOURCE SELECTION	音声選択	43
F90	VIEW STATUS → VERSION	バージョン情報	57
F99	なし	メンテナンス / 状態表示メニューの表示	58
C01	INPUT SETTINGS → HDCP INPUT MODE	HDCP 入力の許可 / 禁止	45
C06	INPUT AUDIO SETTINGS → STABLE WAIT	音声入力時の安定待ち	43
C10	OUTPUT SETTINGS → HOTPLUG MASK	ホットプラグ オフ マスク	47
C20	OUTPUT SETTINGS → EDID ERR. OUTPUT MODE	シンク機器 EDID 判別	48
C30	OUTPUT SETTINGS → SIGNAL FORMAT	出力フォーマット	49
C40	OUTPUT SETTINGS → DOWN CONVERSION	ダウンコンバート出力	50
C50	OUTPUT SETTINGS → OUTPUT SIGNAL	出力信号設定	51
C60	OUTPUT SETTINGS → DDC POWER CONTROL	映像信号無入力時の出力設定	52
C68	OUTPUT SETTINGS → AUDIO ONLY OUTPUT	映像信号無入力時の出力音声	44
C80 ~ C83	LAN SETTINGS → IP ADDRESS	IP アドレス	53
C84	LAN SETTINGS → SUBNET MASK	サブネットマスク	54
C85	LAN SETTINGS → PORT NUMBER	TCP ポート番号	55
C86	LAN SETTINGS → MAC ADDRESS	MAC アドレス表示	56
C91	SYSTEM SETTINGS → REBOOT	リブート	56
C92	SYSTEM SETTINGS → BUTTON LOCK	ボタンロック対象の設定	56
C93	SYSTEM SETTINGS → POWER SAVE MODE	パワーセーブ	57
L01 ~ L22	VIEW STATUS → INPUT STATUS	入力信号状態	59
L30 ~ LL0	VIEW STATUS → SINK DEVICE STATUS / SINK DEVICE EDID	シンク機器状態	63
H00 ~ H02	VIEW STATUS → SYSTEM STATUS	システムチェック状態	67

8.1 フロントメニューの概要

設定するメニューは、大きく3つの項目に分類されます。

- 映像信号と音声信号の設定をする (設定メニュー)
- 本機の設定の調整や確認をする (メンテナンスメニュー)
- 本機の状態を表示する (状態表示メニュー)

設定メニューは、通常の使用時における映像信号と音声信号の設定をします。メニュー番号は「Fxx」です。メンテナンスメニューは、本機の設定や動作確認時などに必要となる項目の設定をします。メニュー番号は「Cxx」です。

状態表示メニューは、入力信号やシンク機器との接続状態、本機の状態を表示します。メニュー番号は「Lxx」と「Hxx」です。

【参考】 メンテナンスメニューと状態表示メニューは、通常使用しないため表示されません。操作が必要なときは、設定メニューから表示設定をしてください。

【参照：8.8.5 メンテナンス / 状態表示メニューの表示 (P.58)】

8.1.1 フロントメニューの一覧

■ 設定メニュー

【表 8.2】 設定メニューの一覧

メニュー番号	機能	参照ページ
F01 ~ F03	EDIDのコピー	33
F10	入力解像度	34
F14	EDIDのコピー選択	36
F16	映像信号の無入力監視	46
F20	Deep Color 入力	37
F22	リニア PCM オーディオ	37
F24	AC-3 Dolby Digital オーディオ	38
F26	AAC オーディオ	38
F28	Dolby Digital Plus オーディオ	39
F30	DTS オーディオ	39
F32	DTS-HD オーディオ	40
F34	Dolby TrueHD オーディオ	40
F36	スピーカー構成	41
F38	CEC 物理アドレスコピー	42
F40	フレームレート	42
F70, F78	音声出力設定	43
F80, F88	音声選択	43
F90	バージョン情報	57
F99	メンテナンス / 状態表示メニューの表示	58

■ メンテナンスメニュー

[表 8.3] メンテナンスメニューの一覧

メニュー番号	機能	参照ページ
C01	HDCP 入力の許可 / 禁止	45
C06	音声入力時の安定待ち	43
C10	ホットプラグ オフ マスク	47
C20	シンク機器 EDID 判別	48
C30	出力フォーマット	49
C40	ダウンコンバート出力	50
C50	出力信号設定	51
C60	映像信号無入力時の出力設定	52
C68	映像信号無入力時の出力音声	44
C80 ~ C83	IP アドレス	53
C84	サブネットマスク	54
C85	TCP ポート番号	55
C86	MAC アドレス表示	56
C91	リブート	56
C92	ボタンロック対象の設定	56
C93	パワーセーブ	57

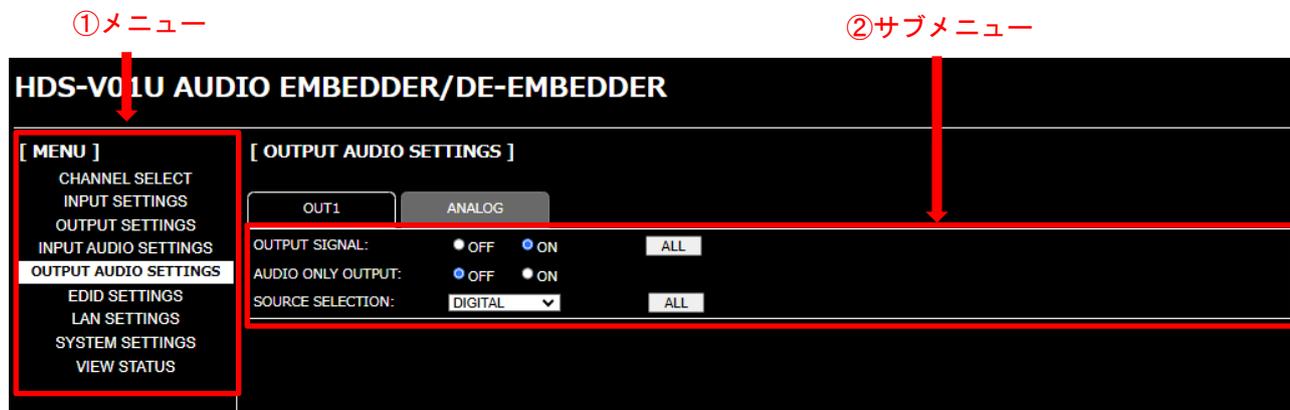
■ 状態表示メニュー

[表 8.4] 状態表示メニューの一覧

メニュー番号	機能	参照ページ
L01 ~ L22	入力信号状態	59
L30 ~ LL0	シンク機器状態	63
H00 ~ H02	システムチェック状態	67

8.2 WEB メニューの概要

LAN で接続された本機を、WEB ブラウザから、フロントパネルと同様に制御できます。入出力設定、EDID 設定および通信設定などの各種設定は、①メニューから選択してください。また、各機能の設定については②サブメニューから設定してください。



[図 8.1] WEB メニュー設定画面

8.2.1 WEB メニューの一覧

[表 8.5] WEB メニューと設定内容の対応一覧

[1/2]

メニュー名	サブメニュー名	各種機能の内容	参照ページ
CHANNEL SELECT	OUTPUT SIGNAL	出力信号設定	51
INPUT SETTINGS	NO INPUT MONITORING	映像信号の無入力監視	46
	HDCP INPUT MODE	HDCP 入力の許可 / 禁止	45
OUTPUT SETTINGS	SIGNAL FORMAT	出力フォーマット	49
	EDID ERR.OUTPUT MODE	シンク機器 EDID 判別	48
	HOTPLUG MASK	ホットプラグ オフ マスク	47
	DOWN CONVERSION	ダウンコンバート出力	50
	DDC POWER CONTROL	映像信号無入力時の出力設定	52
	OUTPUT SIGNAL	出力信号設定	51
INPUT AUDIO SETTINGS	STABLE WAIT	音声入力時の安定待ち	43
OUTPUT AUDIO SETTINGS	OUTPUT SIGNAL	音声出力設定	43
	AUDIO ONLY OUTPUT	映像信号無入力時の出力音声	44
	SOURCE SELECTION	音声選択	43

メニュー名	サブメニュー名	各種機能の内容	参照ページ	
EDID SETTINGS	RESOLUTION	入力解像度	34	
	CH. FOR COPY MODE	EDID のコピー選択	36	
	DEEP COLOR	Deep Color 入力	37	
	FRAME RATE	フレームレート	42	
	AUDIO FORMAT	リニア PCM オーディオ	37	
		AC-3 Dolby Digital オーディオ	38	
		AAC オーディオ	38	
		Dolby Digital Plus オーディオ	39	
		DTS オーディオ	39	
		DTS-HD オーディオ	40	
	AUDIO FORMAT	Dolby TrueHD オーディオ	40	
		SPEAKER CONFIGURATION	スピーカー構成	41
		CEC ADDRESS COPY	CEC 物理アドレスコピー	42
CEC PHYSICAL ADDRESS		CEC 物理アドレス表示	42	
SINK DEVICE EDID COPY		EDID のコピー	33	
LAN SETTINGS	IP ADDRESS	IP アドレス	53	
	SUBNET MASK	サブネットマスク	54	
	PORT NUMBER	TCP ポート番号	55	
	MAC ADDRESS	MAC アドレス表示	56	
SYSTEM SETTINGS	BUTTON LOCK	ボタンロック対象の設定	56	
	POWER SAVE MODE	パワーセーブ	57	
	AUTO RELOAD TIME	自動更新時間	68	
	BACKUP / RESTORE	全設定の保存・復元	68	
	REBOOT	リブート	56	
	INITIALIZATION	設定の初期化	69	
VIEW STATUS	INPUT STATUS	入力信号状態	59	
	SINK DEVICE STATUS	シンク機器状態	63	
	SINK DEVICE EDID	シンク機器状態	63	
	SYSTEM STATUS	システムチェック状態	67	
	VERSION	バージョン情報	57	

8.3 EDID 設定

EDID に関する設定をします。

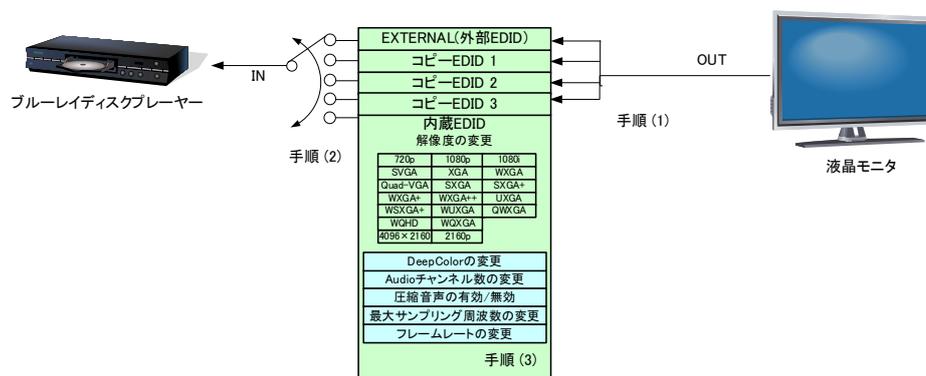
EDID とは本機が推奨する映像解像度、フレームレート、対応音声信号などの情報です。

ソース機器はこの EDID から本機が対応する映像・音声信号を出力します。

EDID の設定では、次の 3 つの方法からソース機器に送信する EDID の設定をカスタマイズできます。

- ・ 出力コネクタに接続されているシンク機器の EDID を使用する。(外部 EDID)
- ・ シンク機器からコピーし、本機に登録した EDID を使用する。(コピーEDID)
- ・ 本機内蔵の EDID を使用する。(内蔵 EDID)

用途に応じて EDID 設定を変更してください。



【図 8.2】 EDID 設定手順

- (1) 出力コネクタから、EDID をコピーし登録する。
(本機が内蔵している EDID (内蔵 EDID) を使用する場合、設定の必要はありません)
【参照：8.3.1 EDID のコピー (P.33)】
- (2) ソース機器が取得する EDID を設定する。
【参照：8.3.2 入力解像度 (P.34)】
【参照：8.3.3 EDID のコピー選択 (P.36)】
- (3) 内蔵 EDID を使用する場合、用途に応じてカスタマイズをする。
【参照：8.3.4 Deep Color 入力 (P.37)】
【参照：8.3.5 リニア PCM オーディオ (P.37)】
【参照：8.3.6 AC-3 Dolby Digital オーディオ (P.38)】
【参照：8.3.7 AAC オーディオ (P.38)】
【参照：8.3.8 Dolby Digital Plus オーディオ (P.39)】
【参照：8.3.9 DTS オーディオ (P.39)】
【参照：8.3.10 DTS-HD オーディオ (P.40)】
【参照：8.3.11 Dolby TrueHD オーディオ (P.40)】
【参照：8.3.12 スピーカー構成 (P.41)】
【参照：8.3.14 フレームレート (P.42)】

8.3.1 EDID のコピー

メニュー	F01 ~ F03 : コピーデータ 1 ~ コピーデータ 3
WEBメニュー	EDID SETTINGS → SINK DEVICE EDID COPY
設定値	下表参照

[表 8.6] EDID コピーの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OUT ※初期値	01	OUT1 COPY1 ~ 3

シンク機器の EDID を読み取り、本機に登録します。この EDID をコピーEDID として本機に登録することで、内蔵 EDID と同じ扱いができます。

以下に、コピーEDID の利用手順を示します。

- (1) シンク機器の EDID を、EDID の保存領域 (コピーデータ 1 ~ コピーデータ 3) へ登録する。

※メニュー番号 : [F01 ~ F03]

- (2) 使用するコピーデータを選択する。

※メニュー番号 : [F14]

【参照 : 8.3.3 EDID のコピー選択 (P.36)】

- (3) COPY (コピーEDID) を選択する

※メニュー番号 : [F10]

【参照 : 8.3.2 入力解像度 (P.34)】

8.3.2 入力解像度

メニュー F10

WEBメニュー EDID SETTINGS → RESOLUTION

設定値 下表参照

ソース機器に対し、出力要求する解像度を設定します。

設定番号“03～46”は本機が内蔵しているEDIDです。内蔵EDIDを使用する場合は、使用するシンク機器に対応した最大解像度を設定してください。

720p / 1080i / 1080p / 2560x1080 / 2160p / 4096x2160はCTA-861規格のタイミングです。その他は、VESA DMT規格またはVESA CVT規格に準拠したタイミングです。

なお、HDR対応のシンク機器を接続した状態で外部EDIDの設定を選択、またはHDR対応のシンク機器のコピーEDIDの設定を選択したとき、HDR対応になります。また、3D対応のシンク機器を接続した状態で外部EDIDの設定を選択、または3D対応のシンク機器のコピーEDIDの設定を選択したとき、3D対応になります。

【参照：8.3.3 EDIDのコピー選択 (P.36)】

[表 8.7] EDIDの最大解像度一覧

[1/2]

設定番号	最大解像度	画素数	備考
01	EXTERNAL (外部EDID)	—	シンク機器が接続されていない場合は、EXTERNALを選択する直前に使用していたEDIDになります。
02	COPY (コピーEDID)	—	取得データがない(「EDIDのコピー」を行っていない)場合は、“43”の設定になります。
03	1080p	1920×1080	
04	720p	1280×720	
05	1080i	1920×1080	
06	SVGA	800×600	
07	XGA	1024×768	
08	VESA720	1280×720	
09	WXGA	1280×768	
10	WXGA	1280×800	
11	Quad-VGA	1280×960	
12	SXGA	1280×1024	
13	WXGA	1360×768	
14	WXGA	1366×768	
15	SXGA+	1400×1050	
16	WXGA+	1440×900	
17	WXGA++	1600×900	(RB)
18	UXGA	1600×1200	
19	WSXGA+	1680×1050	
20	VESA1080	1920×1080	(RB)

設定番号	最大解像度	画素数	備考
21	WUXGA	1920 × 1200	(RB)
22	QWXGA	2048 × 1152	(RB)
23	WQHD	2560 × 1440	(RB)
24	WQXGA	2560 × 1600	(RB)
41	2160p (24 / 25 / 30)	3840 × 2160	
42	2160p (50 / 59.94 / 60、4:2:0)	3840 × 2160	YCbCr 4:2:0 対応
43	2160p (50 / 59.94 / 60、4:4:4) ※初期値	3840 × 2160	YCbCr 4:2:0、YCbCr 4:2:2、 YCbCr 4:4:4 対応
44	4096x2160 (24 / 25 / 30)	4096 × 2160	
45	4096x2160 (50 / 59.94 / 60、4:2:0)	4096 × 2160	YCbCr 4:2:0 対応
46	4096x2160 (50 / 59.94 / 60、4:4:4)	4096 × 2160	YCbCr 4:2:0、YCbCr 4:2:2、 YCbCr 4:4:4 対応
60	UWFHD	2560 × 1080	
61	UWQHD	3440 × 1440	(RB)
62	UWQHD+	3840 × 1600	(RB)
63	DFHD	3840 × 1080	(RB)
64	3240x1080	3240 × 1080	(RB)

(RB) : Reduced Blanking

【注意】 ・ 4096x2160 の解像度を使用する場合 (設定番号 : 44、45、46)

EDID の定義により、ソース機器が最初に選択する解像度は、3840x2160 (30p、YCbCr 4:4:4) になる場合があります。そのため、4096x2160 の解像度を使用するときは、内蔵 EDID の設定後、ソース機器の設定で 4096x2160 の解像度を選択してください。

・ YCbCr4:2:0 の色空間を使用する場合 (設定番号 : 42、45)

EDID の定義により、ソース機器が最初に選択する解像度は、3840x2160 (30p、YCbCr 4:4:4) になる場合があります。そのため、YCbCr 4:2:0 の色空間を使用するときは、内蔵 EDID の設定後、ソース機器の設定で YCbCr 4:2:0 の色空間を選択してください。

・ 4K の EDID が設定されている入力コネクタに、4K に対応していないソース機器を接続した場合、ソース機器が DVI 信号で出力し、音声が出力されないことがあります。このソース機器から HDMI 信号を出力させるには、EDID の設定を 4K 以外の設定に変更してください。

8.3.3 EDIDのコピー選択

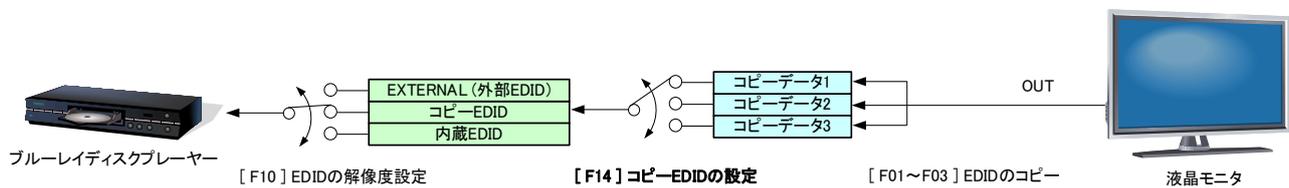
メニュー F14
 WEBメニュー EDID SETTINGS → CH.FOR COPY MODE
 設定値 下表参照

[表 8.8] コピーEDIDの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
コピーデータ 1 ※初期値	01	COPY1
コピーデータ 2	02	COPY2
コピーデータ 3	03	COPY3

コピーEDIDが保存された領域を選択します。

この領域は3つあり、8.3.1 EDIDのコピー (P.33) において、シンク機器からコピーされたEDIDが保存されます。



[図 8.3] コピーEDIDの設定

8.3.4 Deep Color 入力

メニュー F20
 WEBメニュー EDID SETTINGS → DEEP COLOR
 設定値 下表参照

[表 8.9] Deep Color の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
24 bit / pixel (8 bit / component) ※初期値	24	24 BIT COLOR
30 bit / pixel (10 bit / component)	30	30 BIT COLOR
36 bit / pixel (12 bit / component)	36	36 BIT COLOR

ソース機器から出力される映像信号の Deep Color (色深度) を設定します。
 本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 30 bit / pixel (10 bit / component) と 36 bit / pixel (12 bit / component) は、24 bit / pixel (8 bit / component) に比べて伝送速度が高速になるため、品質の悪いケーブルや長いケーブルを接続した場合に、映像にノイズが入ることがあります。この場合は、24 bit / pixel (8 bit / component) に設定することにより現象が改善される場合があります。
 なお、入力信号が4Kフォーマットで垂直同期周波数が50 / 59.94 / 60 Hz (YCbCr 4:4:4) のときは、本設定に関係なく Deep Color は 24 bit / pixel (8 bit / component) になります。

8.3.5 リニア PCM オーディオ

メニュー F22
 WEBメニュー EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT → Linear PCM
 設定値 下表参照

[表 8.10] リニア PCM オーディオの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
32 kHz	32	32kHz
44.1 kHz	44	44.1kHz
48 kHz ※初期値	48	48kHz
88.2 kHz	88	88.2kHz
96 kHz	96	96kHz
176.4kHz	176	176.4kHz
192 kHz	192	192kHz

ソース機器から出力されるリニア PCM オーディオの最大サンプリング周波数を設定します。
 本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 液晶モニタなどでは、高いサンプリング周波数に対応していないことがあります。
 お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.6 AC-3 Dolby Digital オーディオ

メニュー F24

WEBメニュー EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT → Dolby Digital

設定値 下表参照

[表 8.11] AC-3 Dolby Digital オーディオの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF ※初期値	oFF	OFF
32 kHz	32	32kHz
44.1 kHz	44	44.1kHz
48 kHz	48	48kHz

ソース機器から出力される AC-3 Dolby Digital オーディオを設定します。

本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 液晶モニターなどでは、対応していないことがあります。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.7 AAC オーディオ

メニュー F26

WEBメニュー EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT → AAC

設定値 下表参照

[表 8.12] AAC オーディオの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF ※初期値	oFF	OFF
32 kHz	32	32kHz
44.1 kHz	44	44.1kHz
48 kHz	48	48kHz
88.2 kHz	88	88.2kHz
96 kHz	96	96kHz

ソース機器から出力される AAC オーディオを設定します。

本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 液晶モニターなどでは、対応していないことがあります。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.8 Dolby Digital Plus オーディオ

メニュー F28

WEBメニュー EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT → Dolby Digital+

設定値 下表参照

[表 8.13] Dolby Digital Plus オーディオの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF ※初期値	oFF	OFF
32 kHz	32	32kHz
44.1 kHz	44	44.1kHz
48 kHz	48	48kHz

ソース機器から出力される Dolby Digital Plus オーディオを設定します。

本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 液晶モニタなどでは、対応していないことがあります。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.9 DTS オーディオ

メニュー F30

WEBメニュー EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT → DTS

設定値 下表参照

[表 8.14] DTS オーディオの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF ※初期値	oFF	OFF
32 kHz	32	32kHz
44.1 kHz	44	44.1kHz
48 kHz	48	48kHz
96 kHz	96	96kHz

ソース機器から出力される DTS オーディオを設定します。

本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 液晶モニタなどでは、対応していないことがあります。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.10 DTS-HD オーディオ

メニュー F32

WEBメニュー EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT → DTS-HD

設定値 下表参照

[表 8.15] DTS-HD オーディオの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF ※初期値	oFF	OFF
44.1 kHz	44	44.1kHz
48 kHz	48	48kHz
88.2 kHz	88	88.2kHz
96 kHz	96	96kHz
176.4 kHz	176	176.4kHz
192 kHz	192	192kHz

ソース機器から出力される DTS-HD オーディオを設定します。
本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 液晶モニタなどでは、対応していないことがあります。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.11 Dolby TrueHD オーディオ

メニュー F34

WEBメニュー EDID SETTINGS → AUDIO FORMAT → Dolby TrueHD

設定値 下表参照

[表 8.16] Dolby TrueHD オーディオの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF ※初期値	oFF	OFF
44.1 kHz	44	44.1kHz
48 kHz	48	48kHz
88.2 kHz	88	88.2kHz
96 kHz	96	96kHz
176.4 kHz	176	176.4kHz
192 kHz	192	192kHz

ソース機器から出力される Dolby TrueHD オーディオを設定します。
本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 液晶モニタなどでは、対応していないことがあります。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.12 スピーカー構成

メニュー	F36
WEBメニュー	EDID SETTINGS → SPEAKER CONFIGURATION
設定値	下表参照

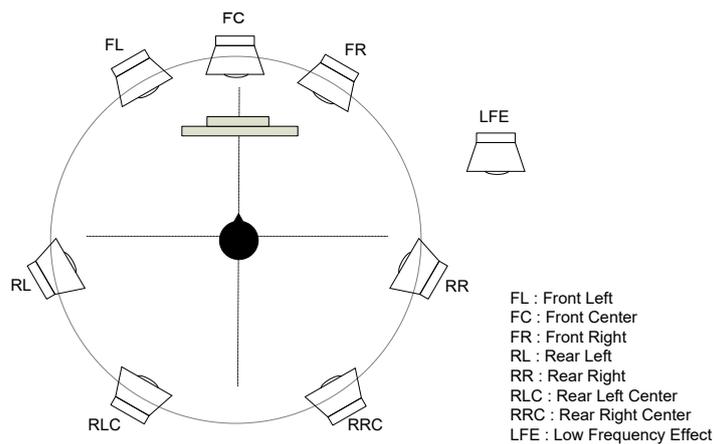
[表 8.17] スピーカー構成の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
2チャンネル ※初期値	02	2CH
3チャンネル (2.1チャンネル)	03	2.1CH
6チャンネル (5.1チャンネル)	06	5.1CH
8チャンネル (7.1チャンネル)	08	7.1CH

ソース機器から出力されるマルチチャンネル音声のスピーカー構成を設定します。
本設定は、8.3.2 入力解像度 (P.34) から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

■ チャンネル数とスピーカー構成について

チャンネル数とスピーカー構成は下図のとおりです。



スピーカー数	FL / FR	LFE	FC	RL / RR	RLC / RRC
2 (2チャンネル)	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
3 (2.1チャンネル)	ON	ON	OFF	OFF	OFF
6 (5.1チャンネル)	ON	ON	ON	ON	OFF
8 (7.1チャンネル)	ON	ON	ON	ON	ON

[図 8.4] チャンネル数とスピーカー構成

【注意】 液晶モニタなどでは、マルチチャンネル音声に対応していないことがあります。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。

8.3.13 CEC 物理アドレスコピー

メニュー	F38
WEBメニュー	EDID SETTINGS → CEC ADDRESS COPY
設定値	下表参照

[表 8.18] CEC 物理アドレスコピーの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
物理アドレスをコピーしない ※初期値	oFF	OFF
物理アドレスをコピーする	on	OUT1

CEC は IN と OUT 間でパススルーになります。本設定は、OUT に接続されているシンク機器の EDID の CEC 物理アドレスを、本機の EDID にコピーします。

接続されているシンク機器の EDID の CEC 物理アドレスと、本機の EDID の CEC 物理アドレスが異なる場合、CEC による電源起動時のシンク機器の入力切換などが、正しく動作しないことがあります。本設定でコピーされた EDID の CEC 物理アドレスを使用することにより、入力に接続されたソース機器と、出力に接続されたシンク機器との間で、CEC 機能が正しく動作できます。本機の EDID に設定されている CEC 物理アドレスは、WEB ブラウザの“CEC PHYSICAL ADDRESS:”欄に表示されます。

本設定は、CEC 対応のソース機器とシンク機器を接続し、**8.3.2 入力解像度 (P.34)** から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。

【注意】 本設定は、CEC を用いた他社対応のシステムリンク機能について動作保証するものではありません。実機接続においてご確認ください。

8.3.14 フレームレート

メニュー	F40
WEBメニュー	EDID SETTINGS → FRAME RATE
設定値	下表参照

[表 8.19] フレームレートの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF ※初期値	oFF	60Hz / 30Hz
ON	on	50Hz / 25Hz

ソース機器から出力される映像信号の周波数を設定します。

本設定は、**8.3.2 入力解像度 (P.34)** から設定番号“03 ~ 64”を選択した場合に有効となります。設定番号“41”または“44”を選択した場合の周波数は 30 Hz または 25 Hz になり、それ以外を選択した場合の周波数は 60 Hz または 50 Hz になります。

8.4 音声設定

8.4.1 音声入力時の安定待ち

メニュー — C06
 WEBメニュー — INPUT AUDIO SETTINGS → STABLE WAIT
 設定値 下表参照

[表 8.20] 音声入力時の安定待ちの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
安定待ち (無)	oFF	OFF
安定待ち (短)	01	SHORT
安定待ち (中) ※初期値	02	MIDDLE
安定待ち (長)	03	LONG

デジタル入力音声の出だしの音が欠ける場合は、“安定待ち (無)” に設定してください。

【注意】 “安定待ち (無)” に設定すると、不安定な入力信号の場合は音声の出だしでノイズが聞こえることがあります。

8.4.2 音声出力設定

メニュー — F70 : OUT、F78 : AUDIO OUT
 WEBメニュー — OUTPUT AUDIO SETTINGS → OUTPUT SIGNAL
 設定値 下表参照

[表 8.21] 音声出力設定の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
ON ※初期値	on	ON
OFF	oFF	OFF

出力音声を設定します。

8.4.3 音声選択

メニュー — F80 : OUT、F88 : AUDIO OUT
 WEBメニュー — OUTPUT AUDIO SETTINGS → SOURCE SELECTION
 設定値 下表参照

[表 8.22] 音声選択の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
デジタル入力音声 ※初期値	dig	DIGITAL
アナログ入力音声	AnA	ANALOG

出力する音声を選択します。

8.4.4 映像信号無入力時の出力音声

メニュー	C68 : OUT
WEBメニュー	OUTPUT AUDIO SETTINGS → AUDIO ONLY OUTPUT
設定値	下表参照

[表 8.23] 映像信号無入力時の出力音声の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
ON	on	ON
OFF ※初期値	oFF	OFF

映像信号が入力されていないときの出力音声を設定します。

“ON” に設定した場合、出力する音声は**音声選択 (P.43)** の設定に従います。映像信号は HDMI 出力コネクタに接続されたシンク機器の EDID から最適な解像度で黒色を出力します。この場合、映像信号無入力時の出力設定 (**P.52**) の設定は無効になります。

“OFF” に設定した場合、音声を出力しないため、映像信号も出力されません。

8.5 入力設定

8.5.1 HDCP 入力の許可 / 禁止

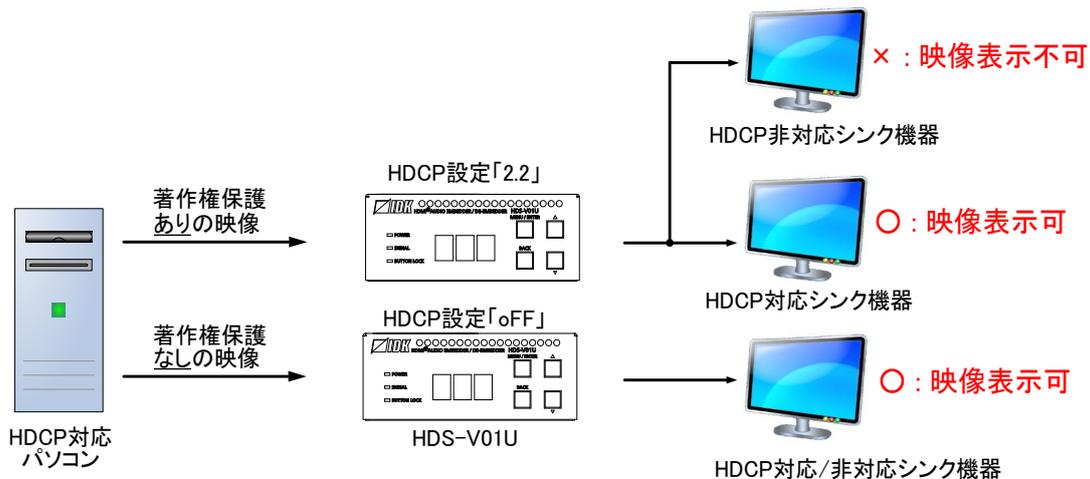
メニュー	C01
WEBメニュー	INPUT SETTINGS → HDCP INPUT MODE
設定値	下表参照

[表 8.24] HDCP 入力の許可 / 禁止の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
HDCP 2.2 と HDCP 1.4 を許可 ※初期値	2.2	HDCP2.2
HDCP 1.4 許可	1.4	HDCP1.4
HDCP 禁止	oFF	DISABLE

一部のソース機器は、接続されるシンク機器が HDCP に対応しているかどうかを判断し、HDCP 出力の ON / OFF を決定します。

本機は HDCP に対応しているため、HDCP に対応していないシンク機器を接続した場合、映像が表示されないときがあります。このような場合、ソース機器に対して HDCP 出力を禁止する設定をすると、映像が表示されます。



[図 8.5] パソコンと HDCP 対応 / 非対応シンク機器との関係

【注意】 著作権保護されたコンテンツを表示させる場合は“HDCP 2.2 と HDCP 1.4 を許可”に設定してください。

HDCP 2.2 (ストリームタイプ 0) のコンテンツは、HDCP 2.2 / HDCP 1.4 対応のシンク機器に表示できます。

HDCP 2.2 (ストリームタイプ 1) のコンテンツは、HDCP 2.2 対応のシンク機器に表示できますが、HDCP 1.4 対応のシンク機器には表示できません。

8.5.2 映像信号の無入力監視

メニュー F16

WEBメニュー INPUT SETTINGS → NO INPUT MONITORING

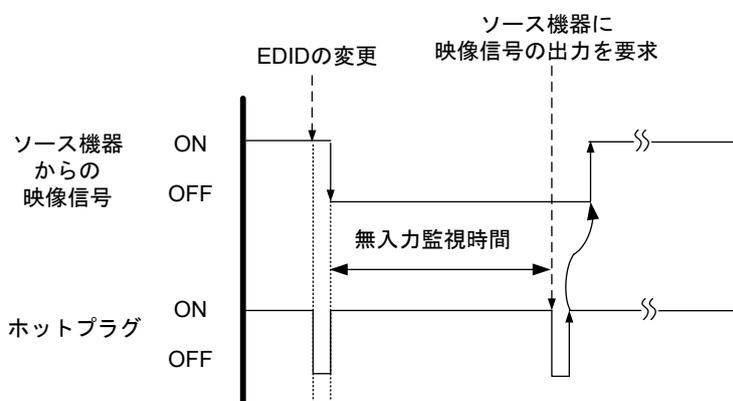
設定値 下表参照

[表 8.25] 映像信号の無入力監視の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
OFF	oFF	OFF
2 秒 ~ 15 秒 ※初期値 10 秒	02 ~ 15	2 ~ 15

本機に接続されたソース機器の電源が入っているときに、EDID 設定の変更や本機の電源をオン / オフすると、ごく一部のソース機器は信号を出力しなくなる場合があります。この場合、本機はソース機器に対して信号を出力するように要求することができます。

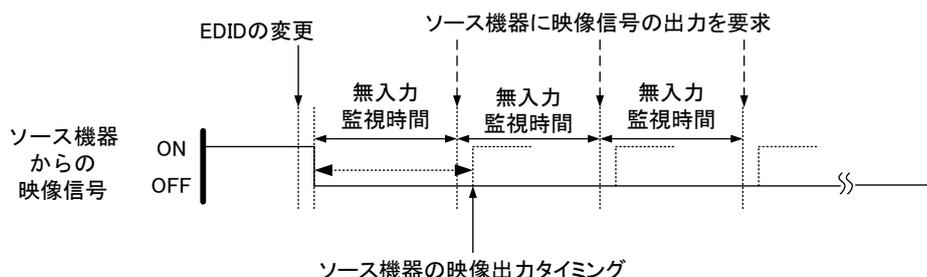
本メニューではソース機器が信号を出力しなくなってから本機が信号を出力するように要求するまでの時間を設定します。



[図 8.6] 映像信号の無入力監視時間

【注意】 ・パソコン（ソース機器）の“モニタの省電力機能”または“デュアルモニタ”を使用する場合は、“OFF”に設定してください。映像信号の出力要求を受けたパソコンは、“モニタの省電力機能”または“デュアルモニタ”を解除することがあります。

- ・ソース機器が映像を出力するタイミングより短い時間を設定すると、ソース機器はそのたびに出力信号の再設定を行い、映像信号が出力されない場合があります。映像信号が出力されない場合は、無入力監視時間を長めに設定してください。



8.6.2 シンク機器 EDID 判別

メニュー	C20 : OUT
WEBメニュー	OUTPUT SETTINGS → EDID ERR. OUTPUT MODE
設定値	下表参照

[表 8.27] シンク機器 EDID 判別の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
EDID 読み取りエラー時 DVI 機器と判断 ※初期値	oFF	OFF
EDID 読み取りエラー時 HDMI 機器 (SCDC なし) と判断	Er1	ERROR1 (NO SCDC)
常時 HDMI 機器 (SCDC なし) と判断	AL1	ALWAYS1 (NO SCDC)
EDID 読み取りエラー時 HDMI 機器 (SCDC あり) と判断	Er2	ERROR2 (SCDC)
常時 HDMI 機器 (SCDC あり) と判断	AL2	ALWAYS2 (SCDC)

シンク機器 EDID の判別方法を設定します。

本機は、シンク機器から EDID を取得し、シンク機器が HDMI 機器か DVI 機器かを判断して映像信号を出力します。しかし、何らかの原因で EDID を取得できない場合はシンク機器の種別が判断できないため、音声が出力されないなどの問題が発生することがあります。本メニューから、EDID の読み取りに失敗したときのシンク機器の種別判断条件を設定することで、任意の信号を出力できます。

-
- 【注意】
- ・本設定は HDMI 信号が入力され、**8.6.3 出力フォーマット (P.49)** の設定が“DVI 出力”以外に設定されているときに動作します。
 - ・本設定を初期値以外で使用する場合は、**8.3.2 入力解像度 (P.34)** の設定番号を”01” (EXTERNAL (外部 EDID)) 以外に設定し、接続するシンク機器の解像度に対応した EDID を設定してください。
-

8.6.3 出力フォーマット

メニュー	C30 : OUT
WEBメニュー	OUTPUT SETTINGS → SIGNAL FORMAT
設定値	下表参照

[表 8.28] 出力フォーマットの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
自動 ※初期値	FoL	FOLLOW SINK DEVICE
RGB 出力	rgb	HDMI RGB MODE
YCbCr 4:2:2 出力	422	HDMI YCbCr 4:2:2 MODE
YCbCr 4:4:4 出力	444	HDMI YCbCr 4:4:4 MODE
DVI 出力	d	DVI MODE
YCbCr 4:2:0 出力	420	HDMI YCbCr 4:2:0 MODE

出力する映像の色空間のモードを選択します。
 選択したモードを優先に、シンク機器に適したモードで出力します。

-
- 【注意】 本設定は HDMI 信号が入力されているときに有効です。
 4K@50 / 59.94 / 60 の信号が入力されたとき、YCbCr 4:2:0 対応 (YCbCr 4:4:4 非対応) のシンク機器に対して、本機は自動で YCbCr 4:2:0 出力します。
 4K フォーマット YCbCr 4:2:0 への変換は、CEA-861 規格のタイミングのみ対応しています。
 YCbCr 4:2:0 出力は 4K@50 / 59.94 / 60 出力時のみ有効です。それ以外の解像度を出力する場合は“自動”の設定と同じになります。
 DVI 出力は 4K@30 以下の入力信号となります。
 “DVI 出力”を選択した場合、デジタル音声は出力されません。
-

8.6.4 ダウンコンバート出力

メニュー	C40 : OUT
WEBメニュー	OUTPUT SETTINGS → DOWN CONVERSION
設定値	下表参照

[表 8.29] ダウンコンバート出力の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
自動 ※初期値	FoL	FOLLOW SINK DEVICE
OFF	oFF	OFF
ON	on	ON

2160p の解像度を 1080p にダウンコンバートして出力します。

“自動” に設定すると、シンク機器が 4K フォーマットに対応しているかを判別し、4K フォーマット非対応の場合は自動的にダウンコンバートして出力します。“OFF” に設定するとダウンコンバートを行いません。

“ON” に設定すると必ずダウンコンバートして出力します。

ダウンコンバート時の対応解像度は以下のとおりです。

[表 8.30] ダウンコンバート出力対応解像度

入力信号解像度	ダウンコンバート後出力解像度
3840x2160p 24Hz	1920x1080p 24Hz
3840x2160p 25Hz	1920x1080p 25Hz
3840x2160p 30Hz	1920x1080p 30Hz
3840x2160p 50Hz	1920x1080p 50Hz
3840x2160p 60Hz	1920x1080p 60Hz

8.6.5 出力信号設定

メニュー	C50 : OUT
WEBメニュー	CHANNEL SELECT → OUTPUT SIGNAL OUTPUT SETTINGS → OUTPUT SIGNAL
設定値	下表参照

[表 8.31] 出力信号設定項目

設定値		フロント	WEB ブラウザ
映像出力 ON、	音声出力 ON ※初期値	on	SOURCE ON
映像出力 OFF、	音声出力 OFF	oFF	SOURCE OFF
黒画面出力 ON、	音声出力 OFF	bL1	V&A MUTE
黒画面出力 ON、	音声出力 ON	bL2	VIDEO MUTE
映像出力 ON、	音声出力 OFF	bL3	AUDIO MUTE

映像や音声をオフまたはミュートに設定できます。

■ オフ設定

“映像出力 OFF、音声出力 OFF” に設定します。シンク機器に映像信号、音声信号、+5 V 信号を出力しません。モニタをスタンバイ状態にできるので省エネ効果があります。

■ ミュート設定

“黒画面出力 ON” の場合、シンク機器に黒画面を出力します。モニタ画面の内容を隠すことができます。
“音声出力 OFF” の場合、音声出力を停止することができます。
モニタをスタンバイ状態にしないので、再び“映像出力 ON、音声出力 ON” に設定したときに早く画面表示や音声出力することができます。

“映像出力 OFF”、“黒画面出力 ON” または “音声出力 OFF” を選択した場合、フロントパネルの BACK ボタンは本設定の有効 / 無効の切換ボタンとして機能します。これらの設定が有効な状態でメニューのトップ画面に戻ると BACK ボタンが点灯します。点灯中に BACK ボタンを押すと本設定は無効になり BACK ボタンが消灯します。

【注意】 “黒画面出力 ON” は、本機に映像信号が入力されているときにのみ機能します。
“音声出力 OFF” は、HDMI 出力に対する設定で、アナログ音声はミュートされません。

8.6.6 映像信号無入力時の出力設定

メニュー C60 : OUT
 WEBメニュー OUTPUT SETTINGS → DDC POWER CONTROL
 設定値

[表 8.32] 映像信号無入力時の出力設定項目

設定値		フロント	WEB ブラウザ
ON	常時+5 V 信号出力 ※初期値	on	ON
OFF	0 秒 映像信号が入力されていない場合、 すぐに+5 V 信号出力を停止	oFF	OFF (0)
	1 秒 ~ 60 秒 映像信号が入力されていない場合、 設定時間経過後に+5 V 信号出力を停止	01 ~ 60	OFF (1 ~ 60)

映像信号が入力されていない場合の、+5 V 信号出力の ON / OFF を設定します。

映像信号が入力されていないにも関わらず、スタンバイ機能が搭載されたシンク機器がスタンバイ状態に移行しないときは“OFF”に設定してください。

映像信号が入力されていない場合に“OFF”に設定し、設定時間を“0 秒”にすると、すぐにシンク機器への+5 V 信号出力を停止します。設定時間を“1 秒 ~ 60 秒”にすると、設定時間経過後にシンク機器への+5 V 信号出力を停止します。

8.7 LAN 設定

8.7.1 IP アドレス

メニュー C80 : ①の IP アドレス区間
 C81 : ②の IP アドレス区間
 C82 : ③の IP アドレス区間
 C83 : ④の IP アドレス区間

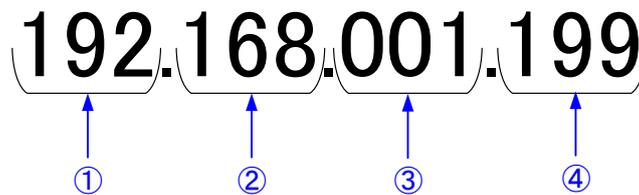
WEB メニュー LAN SETTINGS → PARAMETERS → IP ADDRESS

設定値 下表参照

[表 8.33] IP アドレスの設定項目

設定値		フロント	WEB ブラウザ
000.000.000.000 ~ 255.255.255.255 : ※初期値 192.168.001.199	①	000 ~ 255	0 ~ 255
	②	000 ~ 255	0 ~ 255
	③	000 ~ 255	0 ~ 255
	④	000 ~ 255	0 ~ 255

本機の IP アドレスを設定します。



[図 8.8] IP アドレスの区間

【注意】 初期値の状態では本機を複数台ネットワークに接続した際に IP アドレスが重複してしまうため、重複しないように、それぞれ異なる IP アドレスを設定してください。

8.7.2 サブネットマスク

メニュー C84

WEBメニュー LAN SETTINGS → PARAMETERS → SUBNET MASK

設定値 下表参照

[表 8.34] サブネットマスクの設定項目

設定値	フロント	設定値	フロント
0.0.0.0	1	255.255.0.0	17
128.0.0.0	2	255.255.128.0	18
192.0.0.0	3	255.255.192.0	19
224.0.0.0	4	255.255.224.0	20
240.0.0.0	5	255.255.240.0	21
248.0.0.0	6	255.255.248.0	22
252.0.0.0	7	255.255.252.0	23
254.0.0.0	8	255.255.254.0	24
255.0.0.0	9	255.255.255.0 ※初期値	25
255.128.0.0	10	255.255.255.128	26
255.192.0.0	11	255.255.255.192	27
255.224.0.0	12	255.255.255.224	28
255.240.0.0	13	255.255.255.240	29
255.248.0.0	14	255.255.255.248	30
255.252.0.0	15	255.255.255.252	31
255.254.0.0	16	255.255.255.254	32

設定値	WEB ブラウザ
000.000.000.000 ~ 255.255.255.254 :	0 ~ 255
※初期値 255.255.255.000	0 ~ 255
	0 ~ 255
	0 ~ 254

本機のサブネットマスクを設定します。

8.7.3 TCP ポート番号

メニュー	C85
WEBメニュー	LAN SETTINGS → PARAMETERS → PORT NUMBER
設定値	下表参照

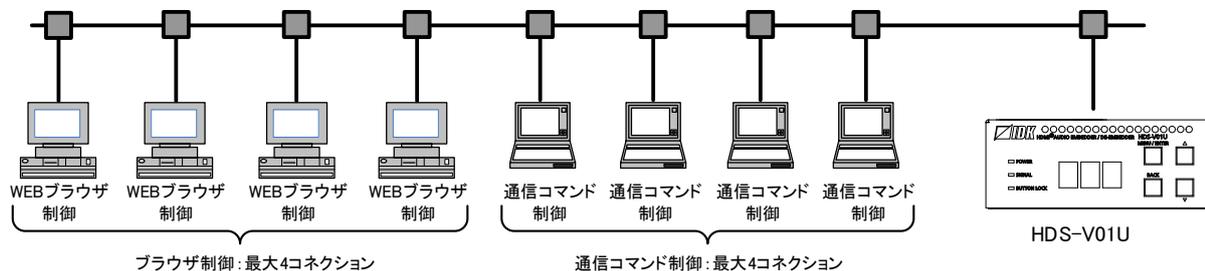
[表 8.35] TCP ポート番号の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
最大 4 コネクション使用可能 ※初期値	4	CONNECTION : 4 (1100、6000 ~ 6999)
最大 8 コネクション使用可能	8	CONNECTION : 8 (1100、6000 ~ 6999)

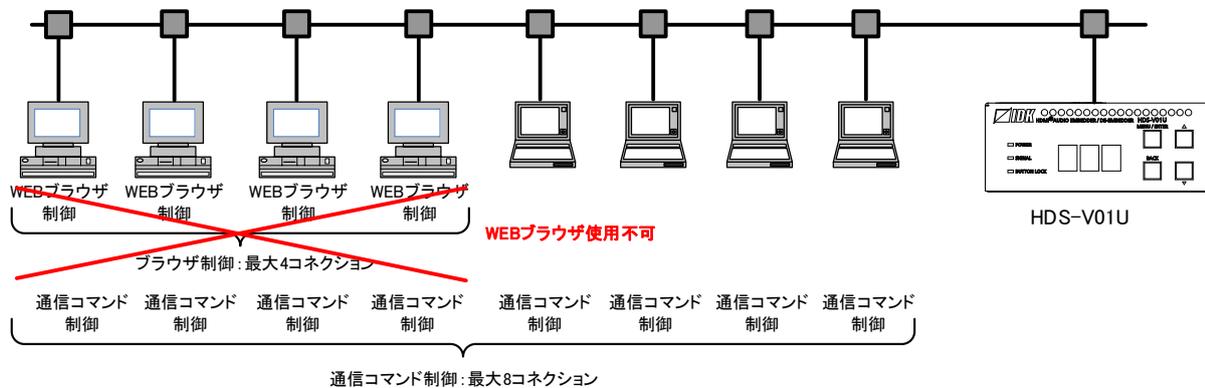
“最大 4 コネクション使用可能”に設定すると、WEB ブラウザ制御と通信コマンド制御に分けられ、各 4 コネクションずつ割り当てられます。このときの WEB ブラウザ HTTP ポート番号は“80”固定です。
 “最大 8 コネクション使用可能”に設定すると、WEB ブラウザ制御の 4 コネクションを通信コマンド制御に割り当てて最大 8 コネクションまで同時に接続することができます。

- 【注意】
- ・ “最大 8 コネクション使用可能”に設定すると、WEB ブラウザは使用できませんのでご注意ください。
 - ・ ポート番号の変更は通信コマンドまたは、WEB ブラウザから行ってください。
 - ・ 通信コマンド制御時のポート番号の初期値は“1100”です。

「最大4コネクション使用可能」の場合



「最大8コネクション使用可能」の場合



[図 8.9] 8 コネクション設定

8.7.4 MAC アドレス表示

メニュー C86

WEBメニュー LAN SETTINGS → PARAMETERS → MAC ADDRESS

本機の MAC アドレスを表示します。

8.8 システム設定

8.8.1 リブート

メニュー C91

WEBメニュー SYSTEM SETTINGS → REBOOT

設定値 下表参照

[表 8.36] リブートの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
リブート	rb	REBOOT

本機を再起動します。

8.8.2 ボタンロック対象の設定

メニュー C92

WEBメニュー SYSTEM SETTINGS → BUTTON LOCK

設定値 下表参照

[表 8.37] ボタンロック対象の設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
ALL ※初期値	ALL	ALL
MENU / ENTER	SE	MENU / ENTER
BACK / ▲ / ▼	bC	BACK

ボタンロックの対象を設定します。

“ALL”を設定すると、すべてのボタンがロック対象になります。

“MENU / ENTER”を設定すると、MENU / ENTER ボタンがロック対象になります。

“BACK / ▲ / ▼”を設定すると、トップ画面表示中に BACK ボタン、▲ボタンおよび▼ボタンがロック対象になります。

WEB ブラウザでは、ボタンロック対象の設定と、ボタンロックの有効または解除が一度に行われます。ボタンを ON し、オレンジ色の表示になった状態がボタンロック有効の状態です。

本機のメニュー操作ボタンからボタンロックを有効または解除するには、BACK ボタンを約 3 秒間長押ししてください。

【参照：7.3 メニュー操作ボタンのロック設定 (P.25)】

8.8.3 パワーセーブ

メニュー	C93
WEBメニュー	SYSTEM SETTINGS → POWER SAVE MODE
設定値	下表参照

[表 8.38] パワーセーブの設定項目

設定値	フロント	WEB ブラウザ
パワーセーブ無効 ※初期値	oFF	OFF
パワーセーブ有効	on	ON

パワーセーブを設定します。

“パワーセーブ有効”を設定した場合、30 秒間操作がないとメニュー操作ボタンが消灯します。

【注意】 ステータスランプ、フロントディスプレイは本設定には関係ありません。

8.8.4 バージョン情報

メニュー	F90
WEBメニュー	VIEW STATUS → VERSION

ファームウェアのバージョン情報を表示します。

8.8.5 メンテナンス / 状態表示メニューの表示

メニュー	F99
WEBメニュー	なし
設定値	下表参照

[表 8.39] メンテナンス / 状態表示メニューの表示設定項目

設定値	フロント
非表示 ※初期値	oFF
表示 (再起動後は非表示で起動)	on
常時表示 (再起動後も表示可能)	ALL

メンテナンスメニューと状態表示メニューの表示設定をします。

“非表示”に設定すると、設定メニューのみが表示されます。“表示”または“常時表示”に設定すると、設定メニュー、メンテナンスメニューおよび状態表示メニューが表示されます。

“表示”に設定したまま本機を再起動したときは“非表示”の状態ですべて起動します。“常時表示”に設定したまま本機を再起動したときは“常時表示”の状態ですべて起動します。

【参照：8.1.1 フロントメニューの一覧 (P.28)】

[表 8.40] メニューの表示

設定内容	メニュー		
	設定	メンテナンス	状態表示
oFF	○	×	×
on	○	△	△
ALL	○	○	○

【記号】○：表示、×：非表示

△：本機を再起動したとき、非表示で起動します。

【注意】 本設定は、WEB ブラウザから設定できません。本設定に関わらず、WEB ブラウザではすべてのメニューが設定できます。

8.9 ステータス表示

8.9.1 入力信号状態

メニュー L01 ~ L22
WEBメニュー VIEW STATUS → INPUT STATUS

入力に関する情報を表示します。

[表 8.41] フロントディスプレイでの入力情報の内容

[1/3]

メニュー番号	表示	内容
● 入力映像の HDMI / DVI モードと色深度		
L01	H24	HDMI モード 24 bit / pixel (8 bit / component)
	H30	HDMI モード 30 bit / pixel (10 bit / component)
	H36	HDMI モード 36 bit / pixel (12 bit / component)
	d24	DVI モード 24 bit / pixel (8 bit / component)
	---	入力なし
● 入力映像の HDCP 有無		
L02	on	HDCP あり
	oFF	HDCP なし
	---	入力なし
● 入力映像の HDCP 認証有無 (ソース機器側からの認証)		
L03	1.4	認証あり (HDCP 1.4)
	2.2	認証あり (HDCP 2.2)
	oFF	認証なし
	---	入力なし
● 入力映像の色空間		
L04	rgb	RGB
	422	YCbCr 4:2:2
	420	YCbCr 4:2:0
	444	YCbCr 4:4:4
	---	不明、または入力なし
● 入力映像周波数		
L05	59.9	入力垂直同期周波数 (59.94 Hz の場合)
	---	入力なし
● +5 V 信号入力状態		
L06	on	+5 V 信号入力あり
	oFF	+5 V 信号入力なし
● 入力信号解像度		
L07	1920_1080P	入力信号解像度をスクロール表示 (1920 × 1080p 60 Hz の場合)
	60	
	---	入力なし

メニュー番号	表示	内容
● デジタル音声入力形式 (上位 2 桁) とチャンネル数 (下位 1 桁) n はチャンネル数 : 1 = 2 チャンネル、2 = 2.1 チャンネル、5 = 5.1 チャンネル、 7 = 7.1 チャンネル		
L10	---	不明または入力なし
	00n	不明
	01n	LINEAR PCM Audio
	02n	AC-3 Dolby Digital Audio
	03n	MPEG-1 Audio
	04n	MP3 Audio
	05n	MPEG-2 Audio
	06n	AAC LC Audio
	07n	DTS Audio
	08n	ATRAC Audio
	09n	DSD Audio
	10n	Dolby Digital Plus Audio
	11n	DTS-HD Audio
	12n	Dolby TrueHD Audio
	13n	DST Audio
14n	WMA Audio	
15n	HE-AAC / HE-AACv2 / MPEG Surround Audio	
● デジタル音声入力サンプリング周波数		
L11	22	22.05 kHz
	24	24 kHz
	32	32 kHz
	44	44.1 kHz
	48	48 kHz
	88	88.2 kHz
	96	96 kHz
	176	176.4 kHz
	192	192 kHz
	768	768 kHz
	_01	不明
	_05	
	_07	
	_11	
	_13	
_15		
---	入力なし	

メニュー番号	表示	内容
● デジタル音声入力ビット数、HBR モード (High Bit-Rate Audio)		
L12	H16	16 bit、HBR モード
	P16	16 bit、PCM モード
	_16	16 bit、HBR モードと PCM モード以外の圧縮音声
	H20	20 bit、HBR モード
	P20	20 bit、PCM モード
	_20	20 bit、HBR モードと PCM モード以外の圧縮音声
	H24	24 bit、HBR モード
	P24	24 bit、PCM モード
	_24	24 bit、HBR モードと PCM モード以外の圧縮音声
---	入力なし	
● デジタル音声入力状態		
L13	000	音声入力なし
	001	入力検出中
	002	正常入力
	---	入力なし
● 入力信号のスクランブル状態		
L20	on	スクランブルあり (YCbCr 4:2:0 を除く 4K フォーマットの場合)
	oFF	スクランブルなし
	---	入力なし
● 入力信号の TMDS クロック比率		
L21	1_1	1/1
	1_4	1/4 (YCbCr 4:2:0 を除く 4K フォーマットの場合)
	---	入力なし
● 入力信号のストリームタイプ (HDCP 2.2 の場合)		
L22	000	タイプ 0
	001	タイプ 1
	non	HDCP 1.4、または HDCP 信号なし
	---	入力なし

[表 8.42] WEB ブラウザでの入力情報の内容

WEB ブラウザメニュー	表示	内容
映像信号		
● 入力信号解像度		
FORMAT	1920x1080p 60.00Hz	入力信号解像度を表示 (1920 × 1080p 60 Hz の場合)
● 入力信号の HDMI / DVI モード		
INPUT MODE	HDMI MODE	HDMI モード
	DVI MODE	DVI モード
● 入力映像の HDCP 有無とストリームタイプ		
HDCP	HDCP 2.2 Type1	HDCP 2.2 ストリームタイプ 1 信号
	HDCP 2.2 Type0	HDCP 2.2 ストリームタイプ 0 信号
	HDCP 1.4	HDCP 1.4 信号
	NOT ENCRYPTED	HDCP 信号なし
● 入力信号の色空間		
COLOR SPACE	4:4:4 LIMITED RANGE YUV709	YCbCr 4:4:4
	4:2:2 LIMITED RANGE YUV709	YCbCr 4:2:2
	4:2:0 LIMITED RANGE YUV709	YCbCr 4:2:0
	RGB DEFAULT	RGB
● 入力信号の色深度		
DEEP COLOR	24 BIT COLOR	24 bit / pixel (8bit / component)
	30 BIT COLOR	30 bit / pixel (10bit / component)
	36 BIT COLOR	36 bit / pixel (12bit / component)
● 入力信号のスクランブル状態		
SCRAMBLE	SCRAMBLE ON	スクランブルあり (YCbCr 4:2:0 を除く 4K フォーマットの場合)
	SCRAMBLE OFF	スクランブルなし
デジタル音声信号		
● 音声入力形式		
FORMAT	LINEAR PCM	リニア PCM (リニア PCM の場合)
● 音声入力サンプリング周波数		
SAMPLING FREQUENCY	48 kHz	サンプリング周波数を表示 (48 kHz の場合)
● 音声入力チャンネル数		
CHANNEL	2 CHANNEL	チャンネル数を表示 (2 チャンネルの場合)
● 音声入力ビット数		
BIT LENGTH	24 BIT	サンプリングビット長を表示 (24 ビットの場合)

8.9.2 シンク機器状態

メニュー L30 ~ LL7

WEBメニュー VIEW STATUS → SINK DEVICE STATUS / SINK DEVICE EDID

出力に関する情報を表示します。

[表 8.43] フロントディスプレイでの出力情報の内容

[1/2]

メニュー番号	表示	内容
● 色深度 シンク機器対応状態		
L30	24	24 bit / pixel (8 bit / component) 対応
	30	30 bit / pixel (10 bit / component) 対応
	36	36 bit / pixel (12 bit / component) 対応
	---	未接続
● 色空間 シンク機器対応状態		
L40	rgb	RGB 対応
	422	YCbCr 4:2:2 対応
	444	YCbCr 4:4:4 対応
	444_420	スクロール表示 シンク機器の解像度が 4K@50 / 59.94 / 60 のときは、 YCbCr 4:2:0 までの対応です。
---	未接続	
● 色空間 出力状態		
L50	rgb	RGB 出力
	422	YCbCr 4:2:2 出力
	420	YCbCr 4:2:0 出力
	444	YCbCr 4:4:4 出力
	---	未接続
● ホットプラグ 検出状態		
L60	on	ホットプラグ検出あり
	oFF	ホットプラグ検出なし
● HDMI / DVI シンク機器対応状態		
L70	HC	HDMI モード (圧縮音声対応)
	HP	HDMI モード (PCM 音声対応)
	d	DVI モード (音声非対応)
	---	未接続
● HDCP 認証状態		
L80	000	なし
	001	認証中
	002	
	003	
	004	認証正常終了
	005	認証異常終了

メニュー番号	表示	内容
● HDCP 対応状態		
L90	1.4	HDCP 対応 (HDCP 1.4)
	2.2	HDCP 対応 (HDCP 2.2)
	oFF	HDCP 非対応、または HDCP 信号なし
	---	未接続
● SCDC シンク機器対応状態		
LA0	on	SCDC 対応
	oFF	SCDC 非対応
	---	未接続
● スクランプル 出力状態		
Lb0	on	スクランブルあり
	oFF	スクランブルなし
	---	未接続
● HDR シンク機器対応状態		
LC0	on	HDR 対応
	oFF	HDR 非対応
	---	未接続
● 3D シンク機器対応状態		
Ld0	on	3D 対応
	oFF	3D 非対応
	---	未接続
● HDCP 出力状態		
LF0	non	HDCP 出力なし
	1.4	HDCP 1.4 出力
	h2.2	HDCP 2.2 Type 0 出力
	H2.2	HDCP 2.2 Type 1 出力
	ERR	認証エラー
	---	未接続
● HDMI / DVI 出力状態		
LH0	H	HDMI 出力
	d	DVI 出力
	---	未接続
● カラーレンジ 出力状態		
LL0	F	Full レンジ出力
	L	Limited レンジ出力
	---	未接続

[表 8.44] WEB ブラウザでの出力情報の内容

[1/2]

WEB ブラウザメニュー	表示	内容
出力信号		
● HDCP 認証状態		
HDCP AUTHENTICATION	HDCP 2.2 Type 1	HDCP 2.2 Type 1 認証
	HDCP 2.2 Type 0	HDCP 2.2 Type 0 認証
	HDCP 1.4	HDCP 1.4 認証
	HDCP CHECK NOW	認証中
	HDCP NOT ENCRYPTED	HDCP 非対応
	HDCP ERROR	認証異常終了
	HDCP NOT SUPPORT	シンク機器が HDCP 非対応
● HDMI / DVI 出力状態		
OUTPUT MODE	HDMI MODE	HDMI 出力
	DVI MODE	DVI 出力
● 色空間出力状態		
COLOR SPACE	RGB	RGB 出力
	422	YCbCr 4:2:2 出力
	444	YCbCr 4:4:4 出力
	420	YCbCr 4:2:0 出力
● カラーレンジ出力状態		
COLOR RANGE	LIMITED RANGE	リミテッドレンジ出力
	FULL RANGE	フルレンジ出力
● 色深度出力状態		
DEEP COLOR	24 BIT COLOR	24 bit / pixel (8 bit / component) 出力
	30 BIT COLOR	30 bit / pixel (10 bit / component) 出力
	36 BIT COLOR	36 bit / pixel (12 bit / component) 出力
● スクランブル出力状態		
SCRAMBLE	SCRAMBLE ON	スクランブルあり
	SCRAMBLE OFF	スクランブルなし
シンク機器情報		
● シンク機器名称		
MONITOR NAME	接続機器による	シンク機器名称
● 解像度シンク機器対応状態		
RESOLUTION	接続機器による	シンク機器対応解像度
● HDMI / DVI シンク機器対応状態		
HDMI / DVI	HDMI MODE	HDMI モード
	DVI MODE	DVI モード
● 色空間シンク機器対応状態		
COLOR SPACE	RGB	RGB 対応
	422	YCbCr 4:2:2 対応
	444	YCbCr 4:4:4 対応
	420	YCbCr 4:2:0 対応

WEB ブラウザメニュー	表示	内容
シンク機器情報		
● 色深度シンク機器対応状態		
DEEP COLOR	24 BIT COLOR	24 bit / pixel (8 bit / component) 対応
	30 BIT COLOR	30 bit / pixel (10 bit / component) 対応
	36 BIT COLOR	36 bit / pixel (12 bit / component) 対応
● 音声サンプリング周波数シンク機器対応状態		
PCM FREQUENCY	32 kHz	32 kHz 対応
	44 kHz	44.1 kHz 対応
	48 kHz	48 kHz 対応
	88 kHz	88.2 kHz 対応
	96 kHz	96 kHz 対応
	176 kHz	176.4 kHz 対応
	192 kHz	192 kHz 対応
● 音声ビット長シンク機器対応状態		
PCM BIT LENGTH	16 BIT	16 BIT 対応
	20 BIT	20 BIT 対応
	24 BIT	24 BIT 対応
● 音声チャンネル数シンク機器対応状態		
PCM CHANNEL	2 CHANNEL	2 チャンネル対応
	3 CHANNEL	2.1 チャンネル対応
	6 CHANNEL	5.1 チャンネル対応
	8 CHANNEL	7.1 チャンネル対応
● 圧縮音声シンク機器対応状態		
COMPRESSED AUDIO	SUPPORT	圧縮音声対応
	NOT SUPPORT	圧縮音声非対応
● HDR シンク機器対応状態		
HDR	SUPPORT	HDR 対応
	NOT SUPPORT	HDR 非対応
● SCDC シンク機器対応状態		
SCDC	SUPPORT	SCDC 対応
	NOT SUPPORT	SCDC 非対応
● 3D シンク機器対応状態		
3D	SUPPORT	3D 対応
	NOT SUPPORT	3D 非対応

8.9.3 システムチェック状態

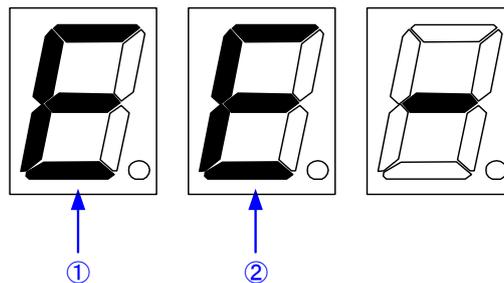
メニュー H00~H02

WEBメニュー VIEW STATUS → SYSTEM STATUS

電源 (DC 12 V IN) 電圧、内部温度の状態を表示します。

[表 8.45] フロントディスプレイのシステムチェック状態の内容

メニュー番号	表示	内容
● システムチェック状態		
H00	---	すべて正常
	EE-	すべて異常
	E--	電源 (DC 12 V IN) 電圧状態が異常 (DC +12 V±10 %以外)
	-E-	内部温度状態が異常
● 電源電圧状態		
H01	12.0	電源 (DC 12 V IN) 電圧値 (12.0 V の場合)
● 内部温度状態		
H02	32.0	内部温度値 (32.0 °C の場合)



[図 8.10] システムチェック状態表示画面 (全て異常時)

番号	説明
①	電源 (DC 12 V IN) 電圧の状態が異常の場合「E」が表示されます。(DC +12V±10 %以外)
②	内部温度の状態が異常の場合「E」が表示されます。

[表 8.46] WEB ブラウザ上のシステムチェック状態表示

メニュー名	表示	内容
● 電源電圧の表示		
POWER STATUS	12.000 V STATUS:OK	電源電圧値 (12.000 V の場合) および状態
● 内部温度の表示		
TEMPERATURE STATUS	32.0 C STATUS:OK	内部温度値 (32.0 °C の場合) および状態

【注意】 WEB ブラウザ上では異常時は「STATUS:NG」と赤字で表示されます。

異常が表示された場合は、故障の可能性がありますので、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

8.10 WEB メニューに限定した操作

WEB メニュー限定の操作について説明します。

8.10.1 表示される名前の編集

CHANNEL SELECT 画面の「NAME EDIT」メニューから、次の名前を編集できます。

- ・ チャンネル選択タブの入力チャンネル名
- ・ チャンネル選択タブの出力チャンネル名
- ・ 製品型番と製品名

登録可能な文字は半角英数字のみです。チャンネル名は最大 10 文字、製品型番と製品名は最大 40 文字まで登録可能です。

8.10.2 自動更新時間

SYSTEM SETTINGS 画面の「AUTO RELOAD TIME」メニューから、CHANNEL SELECT 画面、VIEW STATUS 画面を自動的に更新する時間間隔を設定できます。

なお、それ以外の画面は自動更新に対応していません。自動更新時間は、OFF (初期値) と、5 sec 単位で 5 sec から 60 sec まで設定できます。“OFF” に設定すると、手動によるブラウザの画面更新を行うまで、本機の状態が変わっても画面は更新されません。

8.10.3 全設定の保存・復元

SYSTEM SETTINGS 画面の「BACKUP/RESTORE」メニューから、本機に保存されたすべての設定をバックアップファイルとしてパソコンに保存ができ、また復元することもできます。

■ 設定の保存

バックアップファイルを作成するには、「SYSTEM SETTINGS」メニューの「BACKUP / RESTORE」にある「BACKUP」ボタンをクリックしてください。バックアップの保存確認メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。拡張子が「.idm」の名前でバックアップファイルがパソコンに保存されません。

バックアップファイルの名前は変更することもできます。

■ 設定の復元

バックアップファイルを読み出し、設定した内容を復元するには、「SYSTEM SETTINGS」メニューの「BACKUP / RESTORE」にある「ファイルを選択」ボタンからバックアップファイルを選択し、「RESTORE」ボタンをクリックしてください。なお、復元が完了し本機が再起動されるまでは WEB メニューの操作や本機の電源を OFF にしないでください。バックアップファイルが正しくない場合は、操作の途中で警告を示すダイアログボックスが表示されます。

8.10.4 設定の初期化

SYSTEM SETTINGS 画面の「INITIALIZATION」メニューで本機を工場出荷時の設定に戻すことができます。[NORMAL INITIALIZATION] ボタンで初期化を実行すると、LAN 通信の設定は初期化しないため、WEB ブラウザ上で操作するときに便利です。[ALL INITIALIZATION] ボタンの初期化を実行すると、全ての設定が初期化されます。一度この操作をすると、それまで使用していた設定に戻すことはできません。初期化後は自動で再起動が行われます。

9 ライセンス

本製品で使用されるサードパーティソフトウェアパッケージは、下表の通りです。

GPL または LGPL その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、およびリバースエンジニアリングは禁じられています。

OSS	ライセンス	URL
FreeRTOS	MIT	https://github.com/aws/amazon-freertos/blob/main/LICENSE

10 製品仕様

映像音声入力	HDMI	1 系統 HDMI/DVI 1.0 TMDS シングルリンク、HDCP 1.4/2.2 TMDS クロック: 最大 300 MHz、TMDS データレート: 最大 18 Gbps Deep color/x.v.Color/3D/HDR ¹ 640x480@60 ~ 2560x1600@60 Reduced Blanking 480i、576i ~ 3840x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、3840x2160@50/59.94/60 (4:2:0)、 4096x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、4096x2160@50/59.94/60 (4:2:0) 色深度: 24/30/36 bits ※詳細は対応映像信号表を参照 リニア PCM: 最大 8 チャンネル サンプリング周波数: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz 基準レベル: -20 dBFS、最大入力レベル: 0 dBFS CEC コネクター: HDMI Type A (19 ピン) 最大距離 ² : 30m (1080p@60)、12m (4K@60)
	アナログ音声	1 系統 ステレオ L/R 入力インピーダンス: 24 kΩ アンバランス 基準レベル: -10 dBu、最大入力レベル: +10 dBu コネクター: ターミナルブロック (3 ピン)
映像音声出力	HDMI	1 系統 HDMI/DVI 1.0 TMDS シングルリンク、HDCP 1.4/2.2 TMDS クロック: 最大 300 MHz、TMDS データレート: 最大 18 Gbps Deep color/x.v.Color/3D/HDR ¹ 640x480@60 ~ 2560x1600@60 Reduced Blanking 480i、576i ~ 3840x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、3840x2160@50/59.94/60 (4:2:0)、 4096x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、4096x2160@50/59.94/60 (4:2:0) 色深度: 24/30/36 bits ※詳細は対応映像信号表を参照 リニア PCM: 最大 8 チャンネル サンプリング周波数: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz 基準レベル: -20 dBFS、最大出力レベル: 0 dBFS CEC コネクター: HDMI Type A (19 ピン) 最大距離 ² : 30 m (1080p@60)、12 m (4K@60)
	アナログ音声	1 系統 ステレオ L/R 出力インピーダンス: 50 Ω アンバランス 基準レベル: -10 dBu、最大出力レベル: +10 dBu コネクター: ターミナルブロック (3 ピン)
制御 I/F	LAN	1 系統 10Base-T/100Base-TX (Auto Negotiation)、Auto MDI/MDI-X、コネクター: RJ-45
機能	映像	解像度変換 (4K→1080p)、出力映像ミュート
	音声	音声エンベッド、音声ディエンベッド
	制御	WEB ブラウザー、専用受信コマンド、CEC スルー、状態通知
	その他	ステータス表示、システムチェック、アンチストーム、コネクションリセット ³ 、ボタンロック
その他仕様	電源	DC 12 V 0.4 A 専用 AC アダプター: AC 100 V - 240 V ±10%、50 Hz/60 Hz ±3 Hz、DC 12 V 3 A 36.0 W
	最大消費電力	5 W
	外形寸法	106 (W) ×42 (H) ×150 (D) mm (突起物含まず)
	質量	0.6 kg
	温度	使用範囲: 0°C ~ +40°C、保存範囲: -20°C ~ +80°C
	湿度	20% ~ 90% (ただし結露なきこと)
付属品		専用 AC アダプター (1.2 m) × 1、ケーブル固定ブラケット × 2、結束バンド × 2、ターミナルブロック (3 ピン) × 2

¹ ARC/HEC 非対応

² ケーブルの種類、品質、敷設方法、接続する機器、および設置状態により、映像の乱れや映像が出力されないなど、最大距離が満たされないことがあります。
測定条件は以下になります。

・ HDMI (1080p@60): IDK 製ケーブルを使用し、1080p@60 24 bits の信号を送ったとき

・ HDMI (4K@60) : 18 Gbps 高速伝送対応ケーブルを使用し、3840x2160@60 24 bits の信号を送ったとき

³ コネクションリセットは本機出力のみに対応した機能で、本機出力とシンク機器の間に他の機器が接続されている場合は、機能が有効にならないことがあります。

11 正常に動作しない時は

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 4K フォーマットで使用するときは 18 Gbps 高速伝送対応ケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ 接続している機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありますか？

それでも問題が解決しない場合は、以下の点をご確認ください。また本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
● 映像出力		
映像が出力されない	[1] 本機の EDID 解像度設定が、シンク機器が対応している入力解像度に設定されていますか？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場出荷時の EDID 解像度設定は 2160p 4:4:4 に設定されており、市販のテレビによっては対応していない場合があります。 ・ EDID 解像度設定を 1080i に設定した場合、インターレース信号に対応していないシンク機器には、映像が出力されない場合があります。 ・ パソコン用のモニターはテレビ系の解像度に対応していない場合があります。液晶テレビはパソコン系の解像度 (VGA ~ WQXGA) に対応していない場合があります。 	34 [F10]
	[2] フロントパネルの“SIGNAL LED”が点灯していますか？ 点灯している場合は [3] ~ [8] を、消灯している場合は [9] ~ [11] をご確認ください。	14
	[3] 入力されている信号に HDCP 認証はありますか？ HDCP 認証有無をご確認ください。 1.4 : HDCP 1.4 で著作権保護された信号です。 2.2 : HDCP 2.2 で著作権保護された信号です。 oFF : 著作権保護されていない信号です。	59 [L03]
	[4] シンク機器が HDCP に対応していますか？ HDCP 対応状態をご確認ください。 [3] で著作権保護された映像が入力されている場合、HDCP に対応していないシンク機器には映像が表示されません。 “oFF”や“---”のときは、シンク機器の解像度が対応していない場合がありますので、シンク機器の仕様書をご確認ください。 また、HDCP を必要としない映像の場合、本機の設定からソース機器に対して、HDCP 出力を禁止することもできます。	63 [L90] ※ 45 [C01]

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
● 映像出力 (つづき)		
映像が出力されない	<p>[5] HDCP 2.2 の信号が入力されている場合は、シンク機器が HDCP 2.2 に対応していますか？</p> <p>①入力信号のストリームタイプをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 000 : HDCP 1.4、HDCP 2.2 に対応したすべてのシンク機器に映像を表示することを許可しています。 ・ 001 : HDCP 2.2 に対応したシンク機器にのみ、映像を表示することを許可しています。 <p>②HDCP 対応状態をご確認ください。</p>	<p>61 [L22]</p> <p>63 [L90]</p>
	<p>[6] シンク機器に対応範囲外の解像度が入力されていませんか？ 入力信号の解像度と映像周波数をご確認ください。 シンク機器の解像度が対応していない場合がありますので、シンク機器の仕様書をご確認ください。</p>	59 [L07]
	<p>[7] シンク機器が SCDC に対応していますか？</p> <p>①入力信号の TMDS クロック比率をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1_4 : SCDC の信号です。 ・ 1_1 : SCDC の信号ではありません。 <p>②シンク機器の SCDC 対応状況をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ on : 対応しています。 ・ oFF : 対応していないので、SCDC の信号が入力された場合、映像は表示されません。 	<p>61 [L21]</p> <p>63 [LA0]</p>
	<p>[8] ホットプラグオフマスク設定を変更してみてください。</p>	47 [C10]
	<p>[9] HDMI 入力または HDMI 出力に長いケーブルを接続している場合は、5 m 以下の短いケーブルと交換してみてください。 本機の HDMI 入出力には 5 m 以上のケーブルを接続することが可能ですが、ケーブルの品質や接続する機器によっては、HDCP の認証や EDID の取得に失敗することが考えられます。</p>	—
	<p>[10] 無入力監視時間設定が短くありませんか？</p>	[F16]
	<p>[11] ソース機器の映像出力設定をご確認ください。</p>	—

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
● 映像出力 (つづき)		
映像が途切れる、または映像にノイズが入る	<p>HDMI 入力または HDMI 出力に長いケーブルを接続している場合は、5 m 以下の短いケーブルと交換してみてください。5 m 以上のケーブルを接続することも可能ですが、ケーブルの品質や接続する機器によっては、十分に性能を発揮できない場合があります。短いケーブルと交換することにより現象が改善される場合は、長距離の伝送で信号が劣化していることが考えられます。弊社では、高品質ケーブルや延長器などを用意していますので、ご相談ください。</p> <p>高速な信号 (4K など解像度の高い信号や、Deep Color 信号など) を入出力したときに、ケーブルの品質や接続する機器によっては、映像が表示されなかったり、映像にノイズが入ったりすることがあります。すべての出力コネクタで症状が出る場合は入力側、特定の出力コネクタで症状が出る場合は出力側に原因があるので、解像度を下げたり、Deep Color を 24 bit にして症状が改善されるかご確認ください。</p> <p>入力されている信号の解像度や色深度は入力に関する情報の表示で確認することができ、EDID の設定により入力される信号の解像度や色深度の制限が可能です。</p>	<p>—</p> <p>34 [F10] 37 [F20]</p> <p>59</p>
映像がちらつく	インターレース信号に対応していないシンク機器にインターレース信号を入力すると、映像がちらついて見える場合があります。シンク機器の対応解像度をご確認ください。	34 [F10]
映像の上下左右が欠ける	シンク機器によっては、入力された映像をオーバースキャンで表示し、映像が欠けてしまうことがあります。シンク機器の表示設定をご確認ください。	—
映像が縦または横に縮んで見える	シンク機器によっては、入力された映像をフル画面で表示し、アスペクト比が崩れてしまうことがあります。シンク機器の表示設定をご確認ください。また解像度によってはフル画面表示を回避できない場合があるので、ソース機器の出力解像度を変更してみてください。	—
パソコンからの映像の上下左右に黒が表示される、または出力画面にパソコンからの映像の一部のみが表示され、マウスを動かすと残りの画面がスクロールして表示される	パソコンにパネルフィット設定がある場合は、「全画面のスケール」を選択してください。 またパソコンに設定した解像度 (画面のプロパティなどで確認が可能です) と、実際にパソコンから出力されている解像度が異なる場合に、このような映像表示になることがあります。パソコンの解像度と EDID 解像度の設定をご確認ください。	34 [F10]
パソコンの「デュアルモニタ」が設定できない、または設定しても解除されてしまう	映像信号の無入力監視設定が働くと、「デュアルモニタ」が正常に動作しない場合があります。この場合は、無入力の監視機能を“OFF”に設定してください。	46 [F16]
ダウンコンバート出力されない	ダウンコンバートに対応した解像度が入力されていますか？ 入力信号解像度をご確認ください。	59 [L07]

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
● 映像出力 (つづき)		
映像ミュート時、黒画面が出力されない	映像信号は入力されていますか？ 黒画面出力は本機に映像信号が入力されているときにのみ機能します。	59 [L07]
映像が紫色や緑色に表示される	シンク機器によっては、入力された映像の色空間を正しく判別できず、紫色や緑色で表示されることがあります。 その場合は、出力フォーマットの設定で任意の色空間を設定してください。	49 [C30]
映像の明るさがおかしい	HDR 信号を使用していませんか？ HDR 非対応のシンク機器が HDR 信号を受信した場合、正しい明るさで表示されません。HDR シンク機器対応状況をご確認ください。	63 [LC0]
● 音声出力		
映像は表示されるが音声が出力されない	音声出力選択を“OFF”に設定していませんか？	43 [F70]
	ソース機器に複数の出力端子がある場合は、ソース機器の音声出力設定をご確認ください。	—
	接続されているシンク機器が対応しているフォーマットの音声が入力されていますか？ 特に液晶モニタは、リニア PCM のサンプリング周波数 88.2 kHz 以上、および圧縮音声 (Dolby Digital、DTS など) に対応していない場合があります。 圧縮音声の収録されたブルーレイディスクなどを再生する場合は、ソース機器の音声出力設定をご確認ください。 なお、EDID の設定により、ソース機器から出力する音声信号を制限することも可能です。	37 [F22] ～ 40 [F34]
	ソース機器から DVI 信号が出力されていませんか？	59 [L01]
	出力フォーマットの設定が DVI 出力になっていませんか？	49 [C30]
	出力信号設定で“音声出力 OFF”の設定になっていませんか？	51 [C50]
マルチチャンネルの音声を再生しているのに 2 チャンネルの音声しか出力されない	工場出荷時は EDID の設定で 2 チャンネルに入力を制限していません。マルチチャンネルの再生を行う場合は、EDID の設定を変更してください。	41 [F36]
HDMI 出力からは音声が出力されるが、アナログ音声出力からは音声が出力されない	圧縮音声 (Dolby Digital、DTS など) が入力されている場合、アナログ音声は出力されません。本機のアナログ音声出力は 2 チャンネルリニア PCM にのみ対応しています。	38 [F24] ～ 40 [F34]

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
● 音声出力 (つづき)		
アナログ音声出力からは音声が出力されるが、HDMI 出力からは音声が出力されない	音声出力選択を“OFF”に設定していませんか？	43 [F70]
	接続されているシンク機器が音声を出力できる解像度を選択していますか？ パソコン系の出力解像度 (VGA ~ WQXGA) を選択した場合、シンク機器が音声を出力できない場合があります。	34 [F10]
	接続されているシンク機器が対応しているサンプリング周波数ですか？ 液晶モニタは、高いサンプリング周波数 (88.2 kHz 以上) の音声を出力できない場合があります。 なお、EDID の設定により、ソース機器から出力する音声信号を制限することも可能です。	37 [F22]
ソース機器から圧縮音声 (Dolby Digital、DTS など) が出力されない	工場出荷時は EDID の設定で圧縮音声の入力を制限しています。 圧縮音声を使用する場合は、EDID の設定を変更してください。	38 [F24] ~ 40 [F34]
	ソース機器の音声出力設定をご確認ください。	—
● 通信コマンド、Web ブラウザ制御		
パソコンから本機の通信コマンド、WEB ブラウザ制御ができない	IP アドレスやサブネットマスクなどが正しく設定されていますか？ WEB ブラウザ制御を行う場合、TCP ポートのコネクション設定が、WEB ブラウザが有効な設定になっていますか？	53 [F80] ~ 55 [F85]
● その他		
CEC による機器制御が行えない	CEC を使用する場合は、本機に接続する機器 (液晶テレビやブルーレイディスクレコーダーなど) の「HDMI リンク制御」を有効に設定してください。	—
	OUT に接続されているシンク機器の EDID の CEC 物理アドレスと、本機の EDID の CEC 物理アドレスが異なる場合、CEC による電源起動時のシンク機器の入力切り換えなどが、正しく動作しないことがあります。	42 [F38]

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。
なお、故障の連絡をするときは、以下の点も事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのチャンネルで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？	はい / いいえ

HDS-V01U 取扱説明書

Ver.1.0.0

発行日 2025年10月10日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル 5階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

Eメールアドレス info@idk.co.jp **ホームページ** www.idk.co.jp